

TOSHIBA

東芝デジタル複合機

困ったときは

e-STUDIO6527AC/7527AC

e-STUDIO6529A/9029A

- このたびは弊社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

© 2022 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複製、複製を禁じます。






はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機をご使用中にトラブルと思われることが生じた場合の原因および対処方法について説明しています。本機を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
 注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
 補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO6527AC/7527AC	e-STUDIO7527AC Series
e-STUDIO6529A/9029A	e-STUDIO9029A Series

オプション機器について

使用可能なオプション機器については、以下の参照先をご覧ください。

機体の情報 - 機体の情報 - 本機のオプション

本文中の画面と操作手順の説明について

お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次


はじめに.....	3
第1章 機体に関するトラブル	
こんな画面が表示されたら.....	8
紙づまりの解除.....	13
紙がつまっている場所を画面で確認する.....	13
紙づまりを解除する.....	15
両面同時原稿送り装置下部.....	17
両面同時原稿送り装置上部.....	18
大容量給紙装置.....	20
カセット給紙部.....	25
カセット.....	26
手差しトレイ.....	27
機体右側面.....	27
両面ユニット.....	30
フィニッシャーおよびホールパンチユニット.....	31
サドルステッチ部.....	36
排紙部.....	43
中継ユニット.....	46
用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除.....	48
ステイプラーの針づまりの解除.....	53
フィニッシャーのステイプラー.....	53
サドルステッチユニットのステイプラー.....	55
トナーカートリッジの交換.....	57
カラー機.....	58
モノクロ機.....	60
廃トナーボックスの交換.....	63
ステイプラーの針の補充.....	67
フィニッシャーのステイプラー.....	67
サドルステッチユニットのステイプラー.....	68
パンチ屑ケースの清掃.....	71
第2章 日常のお手入れ	
日常のお手入れ.....	74
保守サービスについて.....	75
索引.....	77

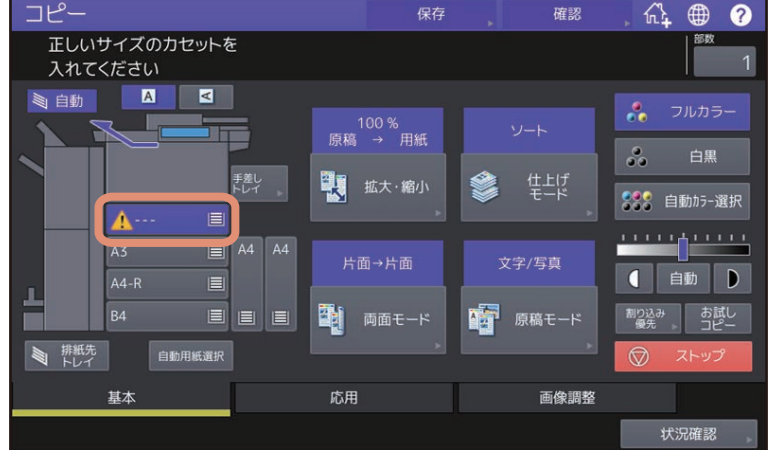

機体に関するトラブル




こんな画面が表示されたら	8
紙づまりの解除	13
紙がつまっている場所を画面で確認する	13
紙づまりを解除する.....	15
両面同時原稿送り装置下部.....	17
両面同時原稿送り装置上部.....	18
大容量給紙装置.....	20
カセット給紙部.....	25
カセット	26
手差しトレイ	27
機体右側面.....	27
両面ユニット	30
フィニッシャーおよびホールパンチユニット.....	31
サドルステッチ部.....	36
排紙部.....	43
中継ユニット	46
用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除	48
ステイプラーの針づまりの解除	53
フィニッシャーのステイプラー.....	53
サドルステッチユニットのステイプラー	55
トナーカートリッジの交換	57
カラー機	58
モノクロ機.....	60
廃トナーボックスの交換	63
ステイプラーの針の補充	67
フィニッシャーのステイプラー.....	67
サドルステッチユニットのステイプラー	68
パンチ屑ケースの清掃	71

こんな画面が表示されたら

本機のタッチパネルには、本機の状態に応じてさまざまな画面が表示されます。ここでは、代表的な不具合の画面表示例と対処のしかたについて説明します。

画面表示	意味／対処
	<p>画面上部のメッセージ表示エリアに、不具合の発生などをお知らせするメッセージが表示されることがあります。</p> <p>代表的なメッセージについては、以下の参照先をご覧ください。</p> <p>よくあるご質問 - エラーメッセージについてのご質問 - エラーメッセージについてのご質問</p>

画面表示	意味/対処
	<p>セットした用紙のサイズとは異なるサイズが表示されている場合や「」と表示されている場合は、用紙サイズが正しく検知されていません。この場合は以下の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カセットにセットできないサイズ用の紙をセットしていないか。 カセットにセットできる用紙のサイズについては、以下の参照先をご覧ください。 本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類 • 非定形の用紙をセットしていないか。 [ユーザー設定サイズ] を押し、用紙サイズを手動で設定してください。 • カセット内の用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間が空きすぎているか。 用紙、サイドガイド、後端ガイドを正しい位置にセットしなおしてください。 • AB系列の用紙をセットしたのに [自動 (inch)] を選んでいないか。LT系列の用紙をセットしたのに、[自動 (mm)] を選んでいないか。 セットした用紙の系列に合ったボタンを押してから、用紙をセットしなおしてください。 定形サイズの用紙をセットしたのに異なるサイズが表示されている場合は、手動で用紙サイズを設定してください。 手動でサイズを設定するには管理者による設定の変更が必要です。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 設定/登録 - 設定項目 (管理者設定) - カセット

画面表示	意味/対処
<p>紙づまり発生 E030</p> <p>機械内部で紙づまりです</p> <p>トータルカウンター: 61</p> <p>両面ユニットのレバーに手を掛け、止まるまで開きます。</p> 	<p>原稿や用紙がつまっています。画面のガイダンスを見ながら、つまっている紙を取り除いてください。</p> <p>📖 P.13 「紙づまりの解除」</p>
<p>カバーオープン</p> <p>本体右側の両面ユニットを開めてください ユニット中央に手を添えて開めてください</p> 	<p>本機のカバーが開いています。画面に示されているカバーを確実に閉めてください。</p>
<p>コピー 保存 確認</p> <p>白黒モードのみで印刷できます</p> <p>Auto A M 100% 原稿 → 用紙 ノンソート フルカラー</p> <p>拡大・縮小 仕上げモード 白黒</p> <p>片面→片面 文字/写真 自動カラー選択</p> <p>両面モード 原稿モード</p> <p>排紙先トレイ 自動用紙選択</p> <p>基本 応用 画像調整</p> <p>マゼンタトナーカートリッジを交換してください</p> <p>状況確認</p> 	<p>トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。</p> <p>📖 P.57 「トナーカートリッジの交換」</p>

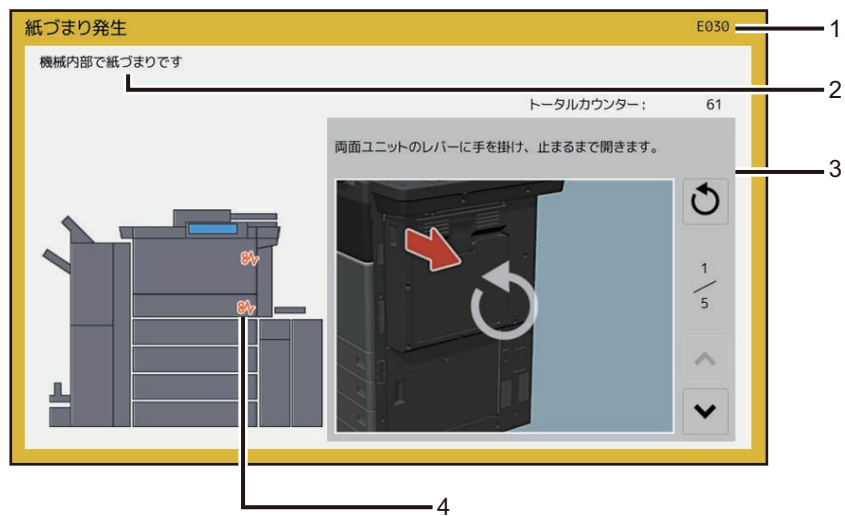
画面表示	意味/対処
<div data-bbox="191 224 949 683"> <p>廃トナーボックス交換</p> <p>廃トナーボックスを交換してください</p> <p>パンチユニットのカバーを開けます。</p> <p>トータルカウンター: 3204</p>  <p>1 / 11</p> </div>	<p>廃トナーボックスがいっぱいです。画面のガイダンスを見ながら、新しい廃トナーボックスに交換してください。</p> <p>📖 P.63 「廃トナーボックスの交換」</p>
<div data-bbox="191 761 949 1209"> <p>サービスコール C4E0</p>  </div>	<p>サービスエンジニアによる調整が必要です。サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。</p> <p>その際、画面右上に表示されるエラーコード (C****) を担当者にお知らせください。</p> <p>不具合の発生した場所によっては、[切り離し] ボタンが表示される場合があります。[切り離し] ボタンを押すと、切り離した機能を除いて複合機を使用できます。切り離した状態を解除するには、サービスエンジニアによる調整が必要です。</p>
<div data-bbox="191 1243 949 1747"> <p>サービスコール C559</p>  </div>	<p>⚠ 警告</p> <p>分解・改造・修理はしないこと 感電・火災・けがの原因となります。</p> <p>動作不良・故障時はサービスエンジニアまたは弊社販売店へご連絡ください。</p>

画面表示	意味/対処
 <p>コピー コピーできます</p> <p>自動 A</p> <p>100% 原稿 → 用紙</p> <p>拡大・縮小</p> <p>仕上げモード</p> <p>フルカラー</p> <p>白黒</p> <p>自動カラー選択</p> <p>片面 → 片面</p> <p>文字/写真</p> <p>両面モード</p> <p>原稿モード</p> <p>ストップ</p> <p>基本 応用 画像調整</p> <p>フィニッシュは使えません(切り離し中)</p>	<p>マークが表示されているオプションの機能は、使用できません。</p> <p>オプションを切り離れた状態を解除するには、サービスエンジニアによる調整が必要です。</p>
 <p>重送発生</p> <p>原稿が重送したため、読み込みが停止しました 原稿を確認してもう一度セットしてください。</p> <p>原稿送り装置上の原稿を取り除き、原稿送り装置を開きます。</p> <p>1 / 6</p>	<p>原稿が二重送りされました。つまっている紙を取り除き、原稿の状態を確認してから、両面同時原稿送り装置に原稿をセットしなおしてください。</p> <p>つまった用紙の取り除きかたは、以下の参照先をご覧ください。</p> <p>📖 P.17 「両面同時原稿送り装置下部」</p> <p>📖 P.18 「両面同時原稿送り装置上部」</p> <p>原稿のセットのしかたについては、以下の参照先をご覧ください。</p> <p>用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series)</p> <p>- 原稿をセットする - 原稿をセットする - 自動原稿送り装置に原稿をセットする</p>

紙づまりの解除

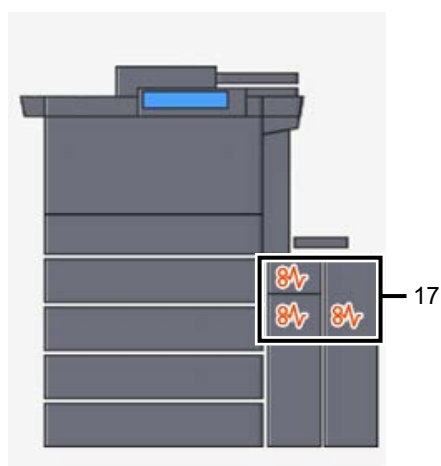
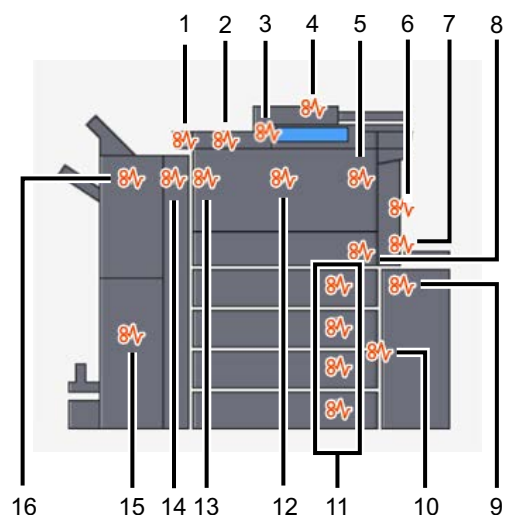
■ 紙がつまっている場所を画面で確認する

原稿や用紙がつまるとコピー動作が停止します。タッチパネルに以下のように表示されます。



1. エラーコード
2. エラーメッセージ
3. 紙づまり解除ガイダンス
4. 紙づまりマーク

紙づまりマークの位置で、紙が詰まっている場所が分かります。



1. 排紙トレイ下カバー (☞ P.43)
2. 排紙トレイ (☞ P.43)
3. 両面同時原稿送り装置下部 (☞ P.17)
4. 両面同時原稿送り装置上部 (☞ P.18)
5. 定着器 (☞ P.28)
6. 両面ユニット (☞ P.30)
7. 手差しトレイ (☞ P.27)
8. 搬送部 (☞ P.27)
9. 外付け大容量給紙装置 (2000枚) (☞ P.20)
10. カセット給紙部 (☞ P.25)
11. カセット (☞ P.26)
12. 中継ユニット (☞ P.46)
13. 横排紙トレイ (☞ P.43)
14. ホールパンチユニット (☞ P.31)
15. サドルステッチ部 (☞ P.36)
16. フィニッシャー (☞ P.31)
17. 外付け大容量給紙装置 (2000枚+2500枚) (☞ P.20)

表示される機体の絵は、装着しているオプションによって異なります。

■ 紙づまりを解除する

注意

中継ユニットの紙づまりの解除は最後に行ってください。他の場所の紙づまりを解除する前に中継ユニットを引き出すと、紙が破れて機体内部に残ることがあります。中継ユニットの紙づまりの解除は、他の場所の紙づまりを解除した後に行ってください。

1 紙づまりを解除します。

画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してください。▲ または ▼ を押してガイダンスを前後にたどることができます。🔄 を押すと、アニメーションをもう一度はじめから再生できます。



2 紙づまりを解除したら、開いているカバーをすべて閉めます。

ウォームアップが始まります。画面の指示に従って操作してください。

□ 紙を取り除くときのご注意

つまった紙を取り除くときは以下の点に注意してください。

中継ユニットの紙づまりの解除は最後に行ってください

機体内部に紙がつまった状態で中継ユニットを引き出すと、紙が破れて機体内部に残ることがあります。中継ユニットの紙づまりの解除は、他の場所の紙づまりを解除した後に行ってください。

紙が破れないように注意してください

つまった紙が破れないように、両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除こうとすると、紙が破れて取り除きにくなります。また、紙が破れたときは破れた紙を本機内に残さないでください。

つまっている紙を取り除いても紙づまりマークが消えないときは

紙づまりが発生したタイミングによっては、紙づまりマークで表示された場所に紙がないこともあります。つまっている紙を取り除いても紙づまりマークが消えない場合は、ガイダンスに従ってすべての操作を行ってください。

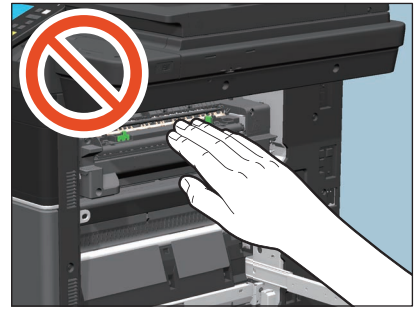
機器内部のコネクターおよびハーネスに触れないように注意してください

故障の原因となります。

定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください

⚠ 注意

機体右側の内部でつまった紙を取り除くときは、定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください。やけどや、触れたショックで手を機器内部に当ててけがをする原因となります。



転写ベルトに触れないように注意してください

機体右側の内部でつまった用紙を取り除くときは、転写ベルトに触れないように注意してください。画像が汚れる原因となります。



□ 紙づまりがひんぱんに起こるときは

紙づまりが起こる原因には、主に以下のものが考えられます。紙づまりがひんぱんに起こるときは、再度確認してください。

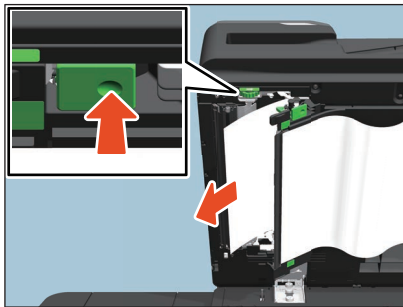
- 原稿送り装置にセットできない原稿をセットしている。
- 本機で使用できない用紙を使用している。
- カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズが、本機に正しく登録されていない。
- 紙づまりが生じたときに、つまっているすべての紙を取り除いていない。
- 給紙カセット内の用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間が空きすぎている。
- 給紙カセット内のサイドガイドの内側にある上限表示より多く用紙をセットしている。

■ 両面同時原稿送り装置下部

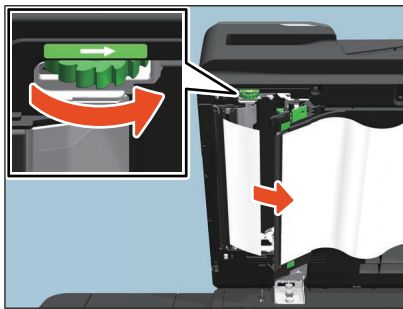
- 1 両面同時原稿送り装置の原稿を取り除き、両面同時原稿送り装置を開きます。



- 2 緑色のボタンを押して下カバーを開け、原稿を取り除きます。



- 3 緑色のダイヤルを回して原稿を取り除きます。



- 4 緑色の部分を押し、下カバーを閉じます。



- 5 両面同時原稿送り装置を閉めます。

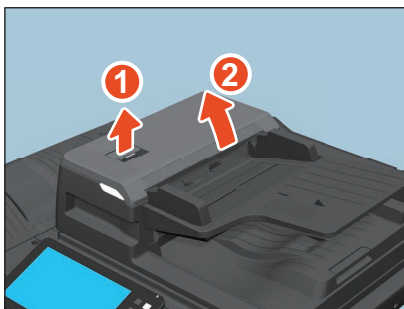


- 6 原稿給紙トレイの下にある原稿を取り除きます。

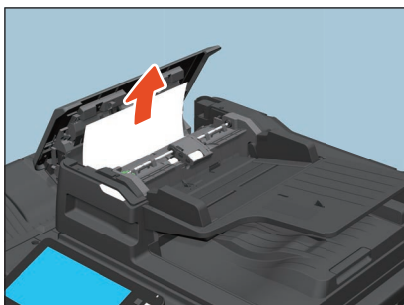


■ 両面同時原稿送り装置上部

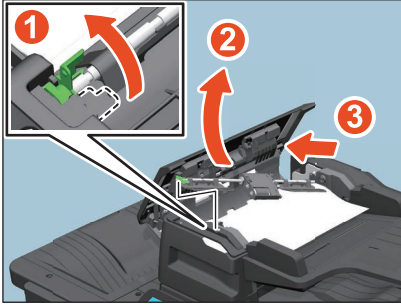
- 1 レバーを上げ、上カバーを開けます。



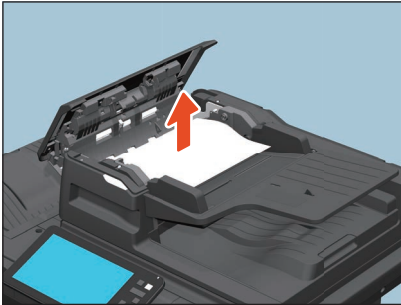
- 2 原稿を取り除きます。



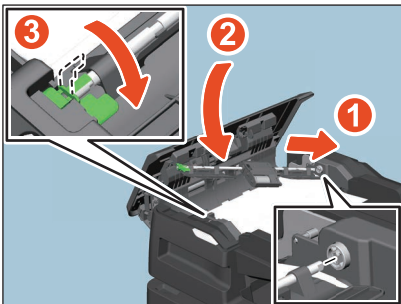
- 3 給紙ローラーユニットの下にある原稿を取り除きにくい場合は、給紙ローラーユニットを取り外します。



- 4 給紙ローラーユニットの下にある原稿を取り除きます。



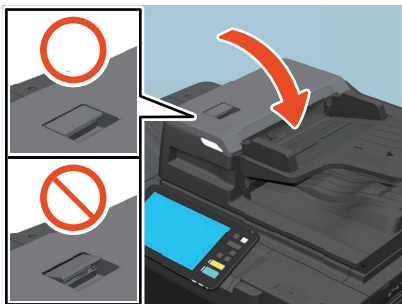
- 5 給紙ローラーユニットを取り付けます。



- 6 原稿給紙トレイの下にある原稿を取り除きます。



7 上カバーを閉めます。



注意

上カバーのレバーが確実に閉まっていることを確認してください。

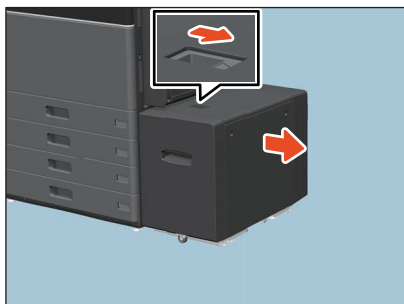
■ 大容量給紙装置

外付け大容量給紙装置（2000枚）

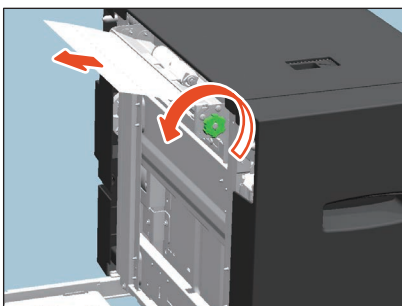
⚠ 注意

機体と外付け大容量給紙装置の間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

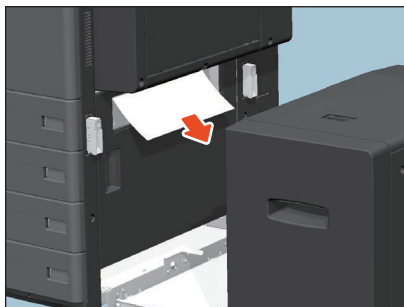
1 外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



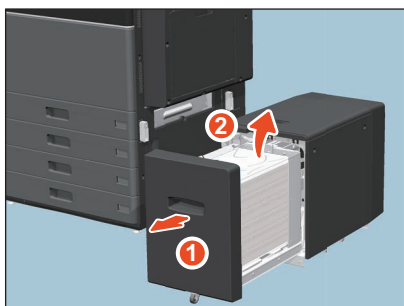
2 緑色のダイヤルを回して、つまっている用紙を取り除きます。



- 3 本体側につまっている用紙を取り除きます。



- 4 給紙トレイを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。



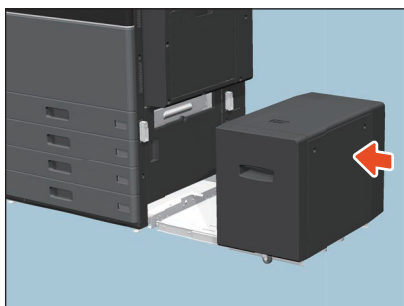
- 5 用紙を入れすぎていること、折れ・曲がりがないことを確認してから、給紙トレイを閉めます。



注意

用紙の量は、リア側のガイド板にある上限表示を超えないようにしてください。

- 6 外付け大容量給紙装置を本体に接続します。
手を図の位置に置き、静かに動かしてください。

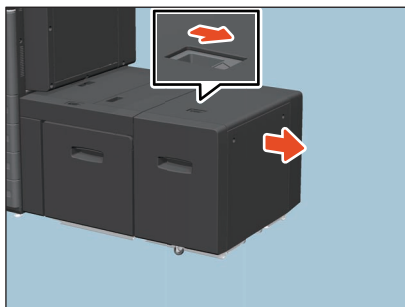


□ 外付け大容量給紙装置（2000枚+2500枚）

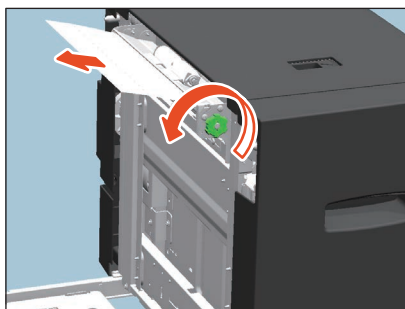
⚠ 注意

機体と外付け大容量給紙装置の間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

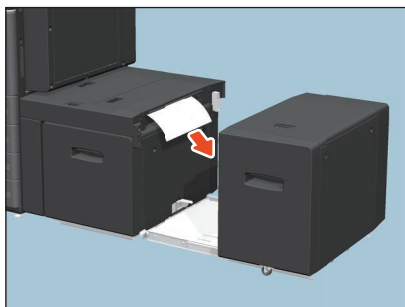
- 1 外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



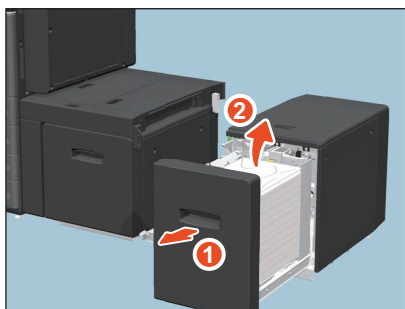
- 2 緑色のダイヤルを回して、つまっている用紙を取り除きます。



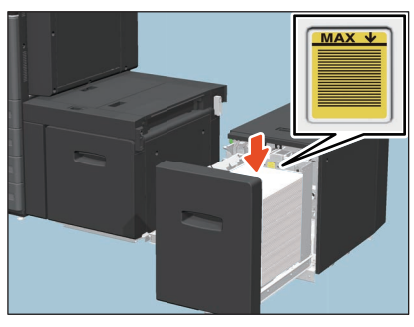
- 3 つままっている用紙を取り除きます。



- 4 給紙トレイを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。



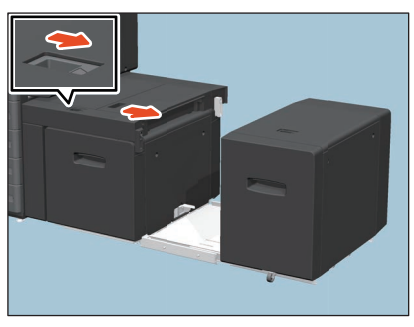
- 5 用紙を入れすぎていること、折れ・曲がりがないことを確認してから、給紙トレイを閉めます。



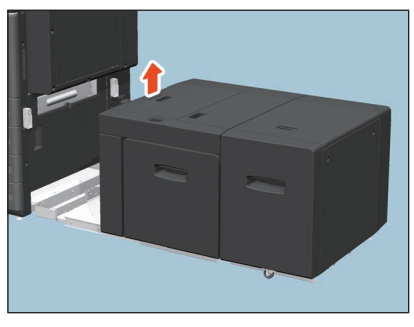
注意

用紙の量は、リア側のガイド板にある上限表示を超えないようにしてください。

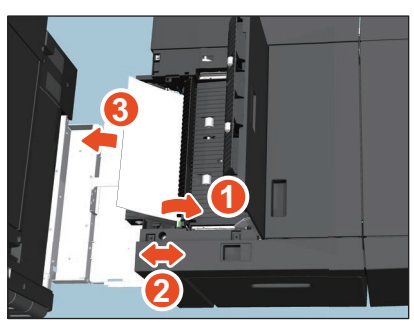
- 6 内側の大容量給紙装置を、レバーを操作して本体から離し、外側の大容量給紙装置に接続するまで動かします。



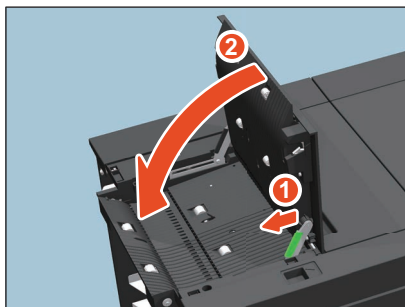
- 7 内側の大容量給紙装置の上カバーを止まるまで開けます。



- 8 緑色のつまみを持ってガイドを開け、緑色のレバーを5回程度動かして、つまっている用紙を取り除きます。



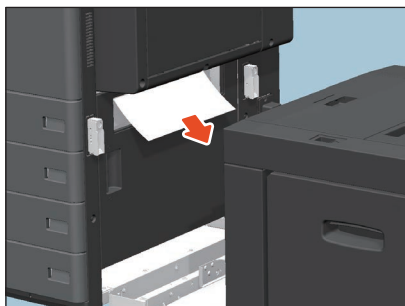
9 緑色のロックを解除して、内側の大容量給紙装置の上カバーを閉めます。



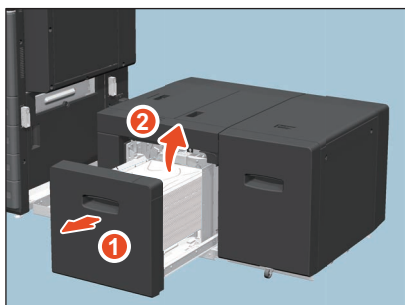
⚠ 注意

上カバーを閉めるときに指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

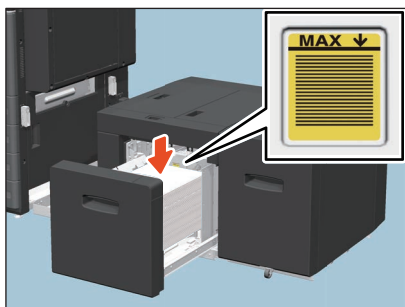
10 本体側につまっている用紙を取り除きます。



11 給紙トレイを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。



12 用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないことを確認してから、給紙トレイを閉めます。

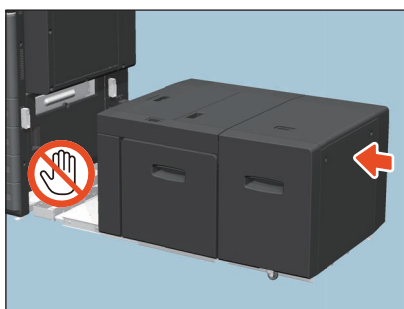


注意

用紙の量は、リア側のガイド板にある上限表示を超えないようにしてください。

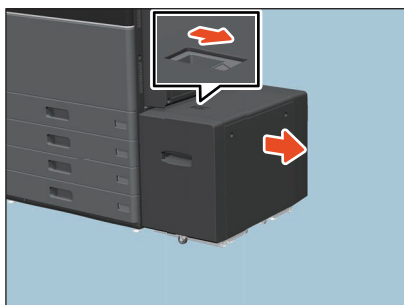
13 外付け大容量給紙装置を本体に接続します。

手を図の位置に置き、静かに動かしてください。



■ カセット給紙部

- 1 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



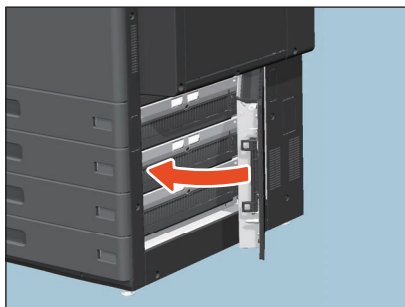
- 2 本体右側の給紙カバーを開きます。



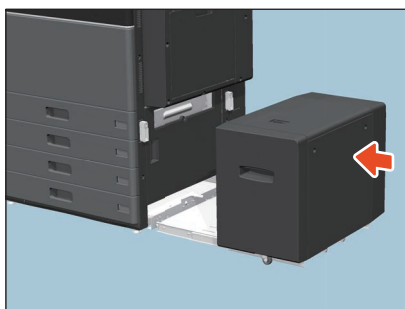
- 3 カセットから出ている用紙を取り除きます。



4 給紙カバーを閉めます。

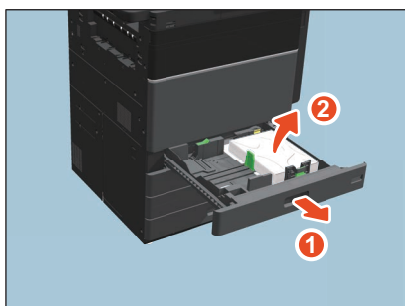


5 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、本体に接続します。 手を図の位置に置き、静かに動かしてください。

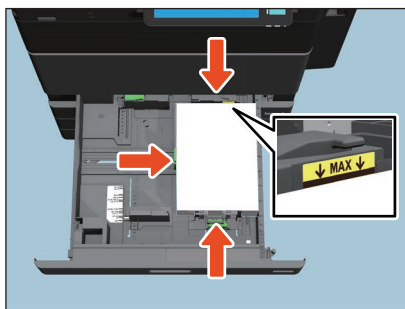


■ カセット

1 給紙したカセットを開けて、つまっている用紙を取り除きます。



2 用紙を入れすぎていること、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認してから、カセットを閉めます。

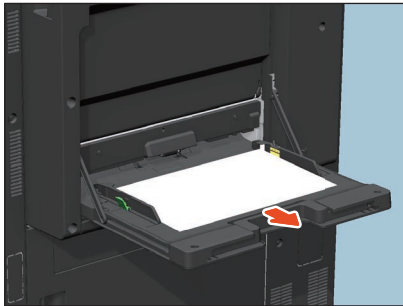


注意

用紙の量は、サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。

■ 手差しトレイ

- 1 手差しトレイ上の用紙をいったん引き抜いてから、セットしなおします。
用紙に汚れ・折れ・破れなどがある場合は、新しい用紙と交換してください。



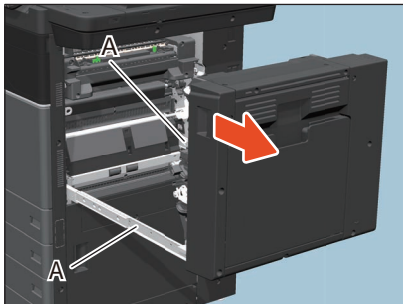
■ 機体右側面

⚠ 注意

定着器およびその付近の金属部には触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

□ 搬送部

- 1 両面ユニットのレバーに手を掛け、止まるまで開きます。



⚠ 注意

スライドレール（図中A）に触れないように注意すること
けがの原因となります。

- 2 つまっている用紙を取り除きます。



- 3 図の位置に手を添えて、両面ユニットを閉めます。

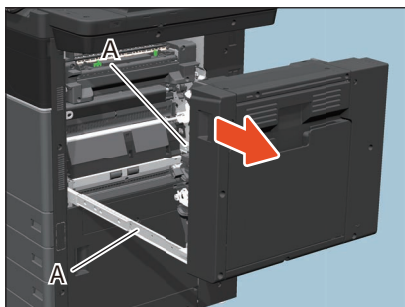


⚠ 注意

両面ユニットの上面に手や指を置いた状態で閉めないこと
手や指を挟み、けがの原因となります。

定着器

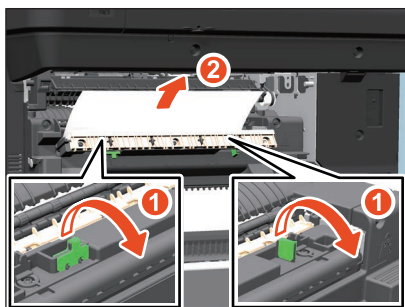
- 1 両面ユニットのレバーに手を掛け、止まるまで開きます。



⚠ 注意

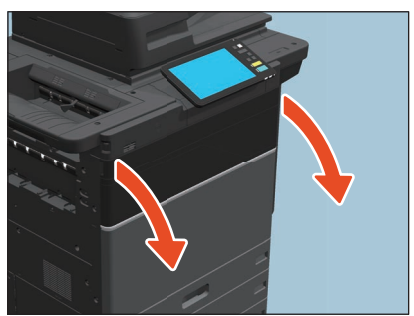
スライドレール（図中A）に触れないように注意すること
けがの原因となります。

- 2 緑色のつまみを持って搬送ガイドを開け、つまっている用紙を取り除きます。

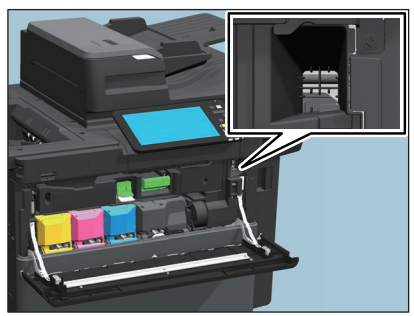


3 つまっている用紙が見えない場合は、定着器の奥の方に用紙がつまっていないか確認します。

1. 本体の前面カバーを開けます。

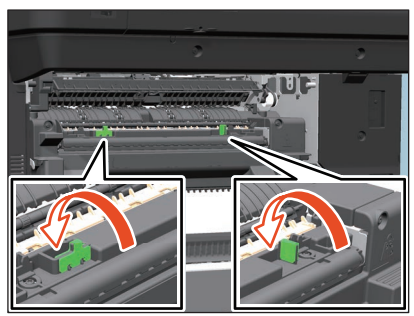


2. 紙づまり確認用の窓から覗き、定着器の奥の方に用紙がつまっていないか確認します。

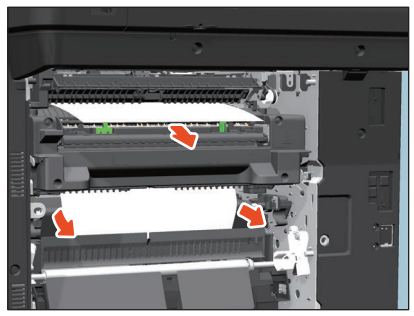


3. 前面カバーを閉めます。

4 緑色のつまみを持って、搬送ガイドを戻します。



5 定着器の上や下に用紙が残っていたら、用紙を取り除きます。



⚠ 注意

定着器の下にある用紙を取り除くときは、用紙の手前と奥に指を掛け、用紙で指を切らないように注意して引き出してください。

注意

転写ベルトに手を触れないように注意してください。機体の故障や、画像が汚れる原因となります。

6 図の位置に手を添えて、両面ユニットを閉めます。



⚠ 注意

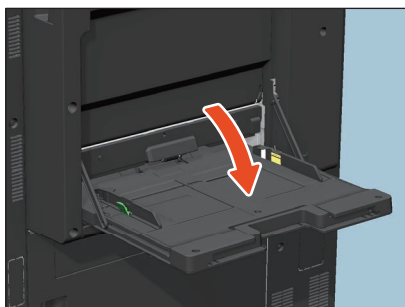
両面ユニットの上面に手や指を置いた状態で閉めないこと
手や指を挟み、けがの原因となります。

■ 両面ユニット

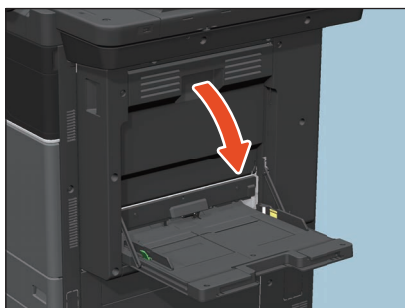
⚠ 注意

- 両面ユニットのガイド板の金属部には触れないこと
やけどの原因となります。
- 両面ユニットを本体に接続した状態で作業すること
両面ユニットを本体から離れた状態で作業すると、故障やけがの原因となります。

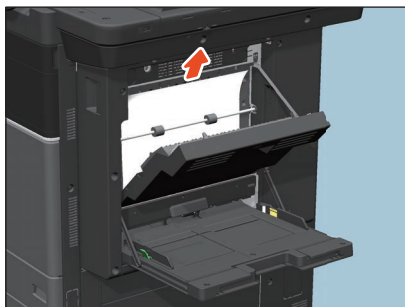
1 本体右側の手差しトレイを開けます。



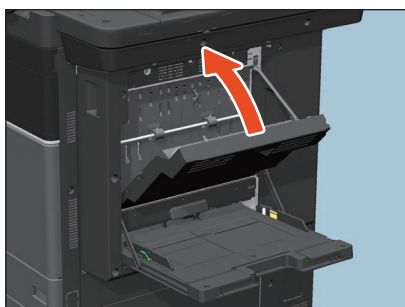
2 両面ユニットカバーを開けます。



3 つまっている用紙を取り除きます。



4 両面ユニットカバーを閉めます。



⚠ 注意

両面ユニットカバーの上面に手や指を置いた状態で閉めないこと
手や指を挟み、けがの原因となります。

5 手差しトレイを閉めます。

■ フィニッシャーおよびホールパンチユニット

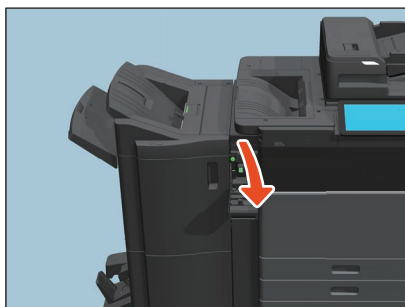
1 フィニッシャーを本体から離します。

1. ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャーの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

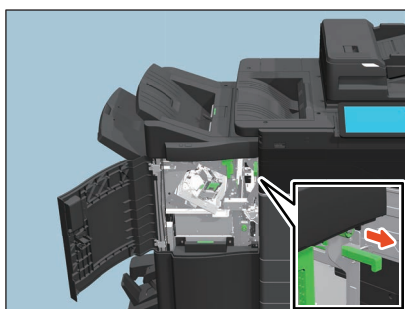


ホールパンチユニットを装着している場合



2. レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

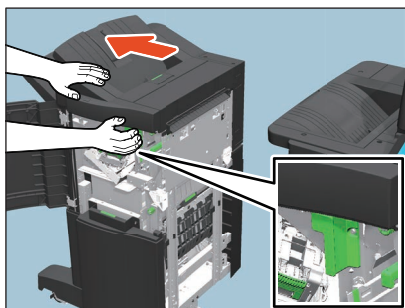


ホールパンチユニットを装着している場合

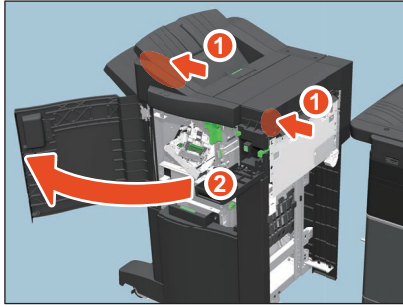


3. 図の位置に手を添えて、フィニッシャーを止まるまで静かに動かしてから、フィニッシャーの前面カバーを開けます。

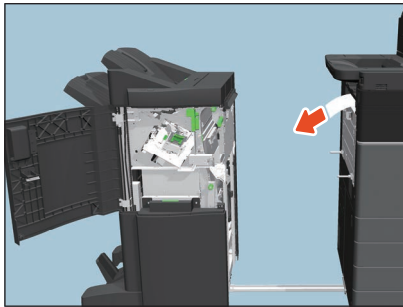
ホールパンチユニットを装着していない場合



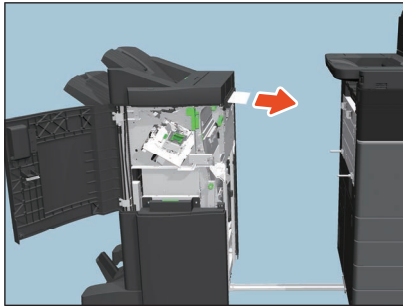
ホールパンチユニットを装着している場合



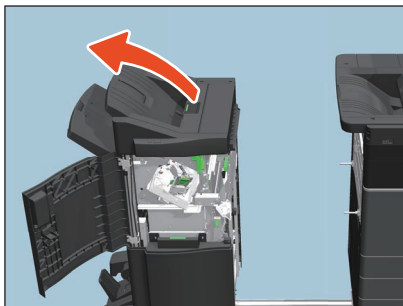
2 本体側につまっている用紙を取り除きます。



3 フィニッシャー入口につまっている用紙を取り除きます。



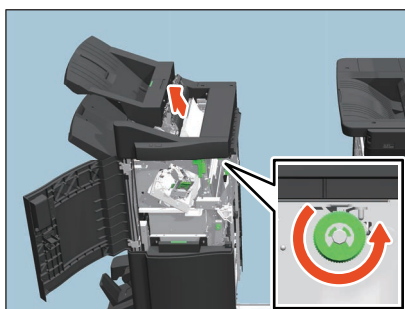
4 取っ手を上げ、フィニッシャーの上段排紙トレイを開けます。



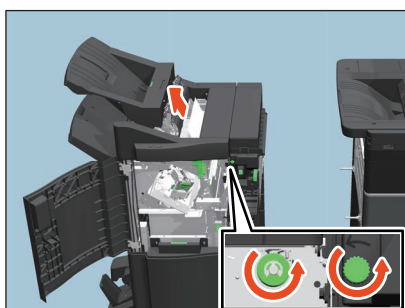
5 以下の図の位置にある緑色のつまみを回して用紙を送り、用紙を取り除きます。

必ずつまみを矢印方向に回して用紙を送って取り除いてください。つまみを回さずに無理に用紙を引っ張ると、用紙が破れることがあります。

ホールパンチユニットを装着していない場合



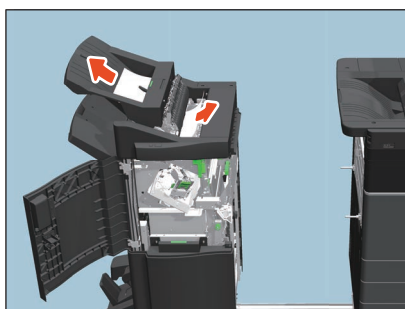
ホールパンチユニットを装着している場合



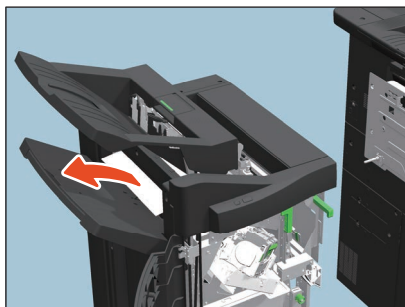
注意

ホールパンチユニットを装着している場合、フィニッシャーの前面のカバーを開け、2つのつまみを同時に回します。

6 つまっている用紙を、右側または左側から取り除きます。

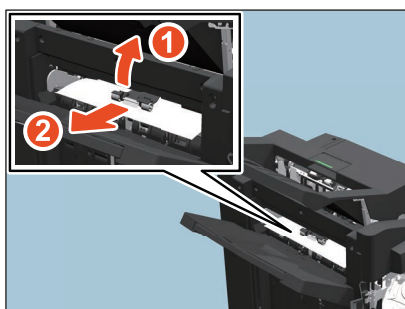


7 つまっている用紙を取り除きます。



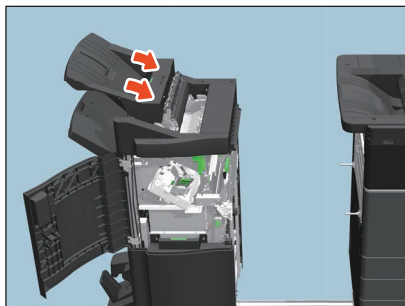
補足

用紙が排紙部のローラーに引っかかっているときは、ローラーを指で持ち上げて、つまっている用紙を取り除いてください。



8 フィニッシャーの上段排紙トレイを閉めます。

取っ手の手前と奥に手を置き、カチッと音がするまで両手でしっかり押し込んでください。



⚠ 注意

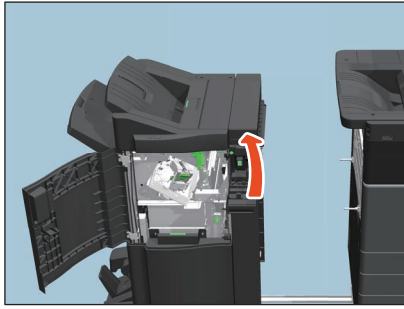
フィニッシャー本体と上段排紙トレイの間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

補足

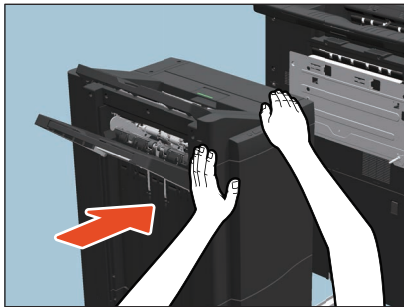
取っ手の右側を片手で押し閉めることもできます。



- 9 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



- 10 フィニッシャーの前面カバーを閉めてから、フィニッシャーを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

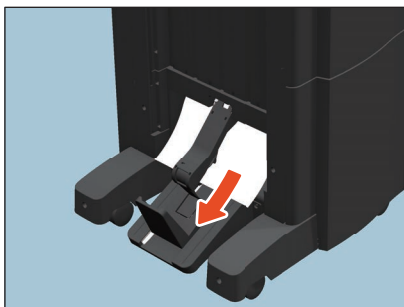
⚠ 注意

フィニッシャーと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

■ サドルステッチ部

サドルステッチ部は、サドルステッチフィニッシャー MJ-1112の内部にあります。

- 1 サドルステッチ部の排紙側につまっている用紙を取り除きます。



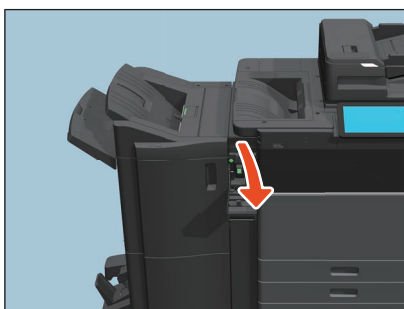
2 フィニッシャーを本体から離します。

1. ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャーの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

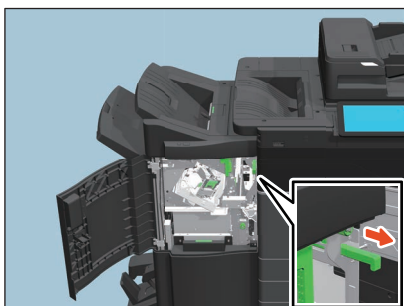


ホールパンチユニットを装着している場合



2. レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

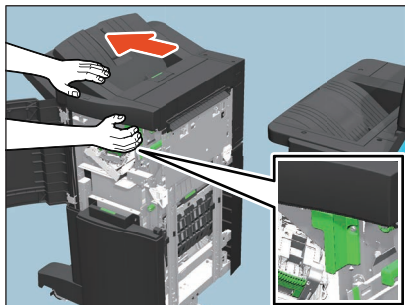


ホールパンチユニットを装着している場合

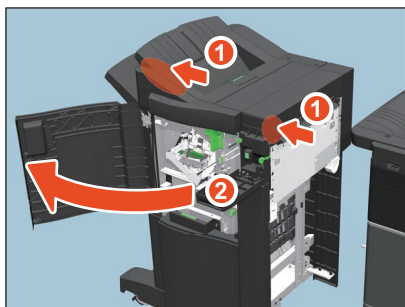


3. 図の位置に手を添えて、フィニッシャーを止まるまで静かに動かしてから、フィニッシャーの前面カバーを開けます。

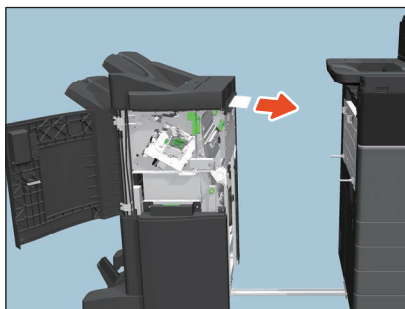
ホールパンチユニットを装着していない場合



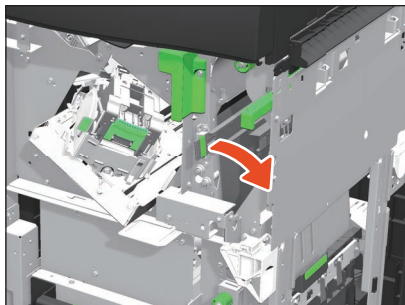
ホールパンチユニットを装着している場合



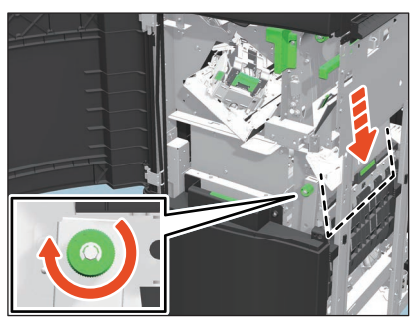
- 3 フィニッシャー入口のつまっている用紙を取り除きます。



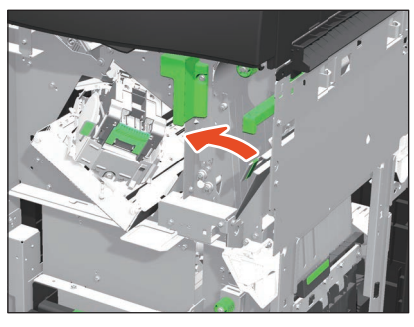
- 4 緑色の取っ手のガイドを右に寄せます。



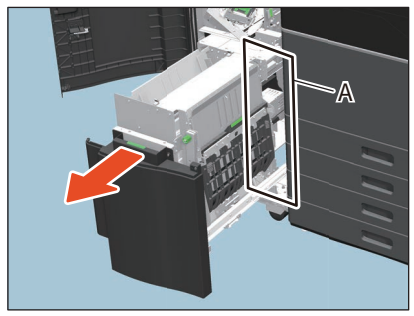
5 緑色のつまみを回して、用紙が見えなくなるまで下方方向に移動させます。



6 緑色の取っ手のガイドを左に戻します。



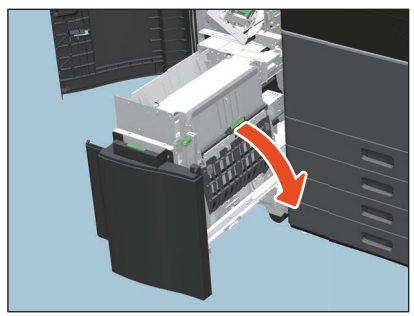
7 サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



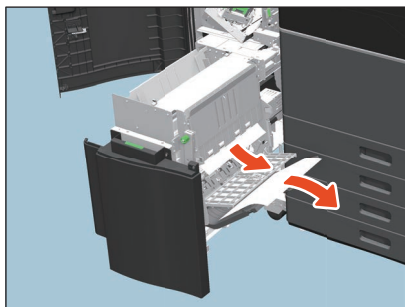
⚠ 注意

サドルステッチユニットの奥の開口部 (A) に手を入れないこと
手を挟み、けがの原因となります。

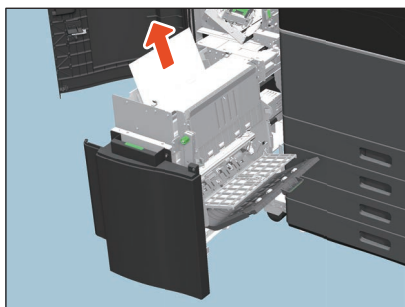
8 右側の搬送ガイドを開けます。



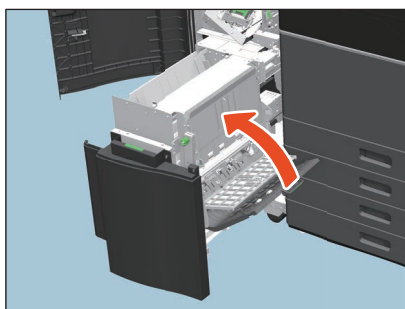
9 用紙を取り除きます。



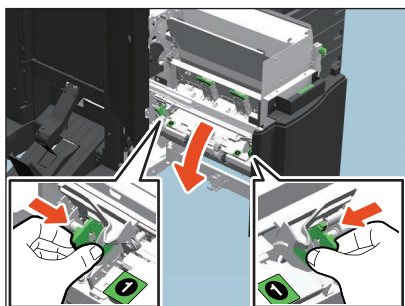
10 サドルステッチユニット内部にある用紙を取り除きます。



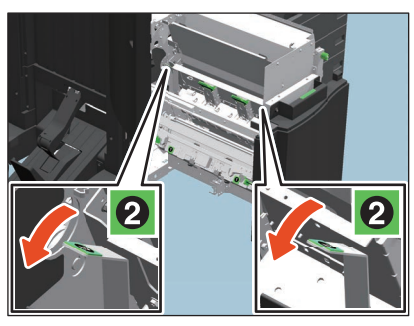
11 搬送ガイドを閉めます。



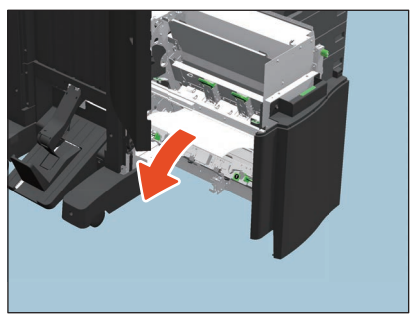
12 緑色のつまみを両手でつまみながら、サドルステッチユニットの左側の搬送ガイドを開けます。



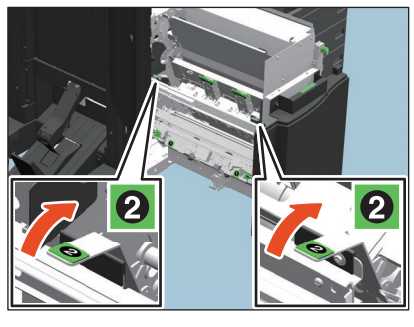
13 緑色のレバー（2か所）を押し下げます。



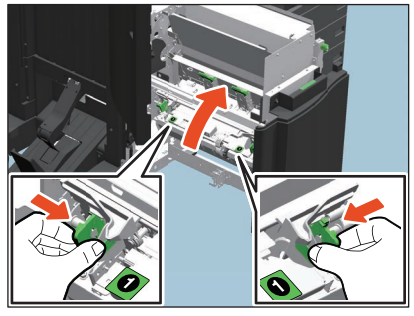
14 用紙を取り除きます。



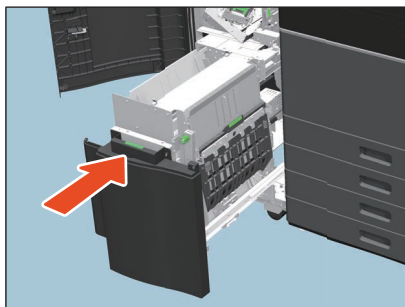
15 緑色のレバー（2か所）を押し上げます。



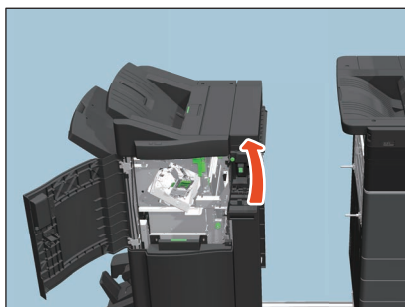
16 緑色のつまみを両手でつまみながら、サドルステッチユニットの左側の搬送ガイドを閉めます。



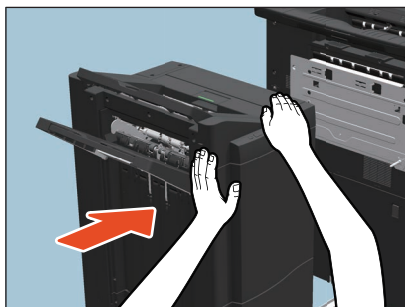
17 サドルステッチユニットを元に戻します。



18 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



19 フィニッシャーの前面カバーを閉めてから、フィニッシャーを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

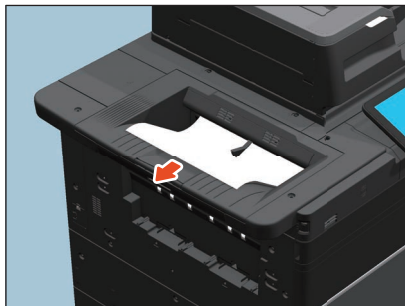
⚠ 注意

フィニッシャーと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

■ 排紙部

□ 排紙トレイ

- 1 排紙トレイから用紙を取り除きます。



- 2 中継ユニットの紙づまりを解除してください。

📖 P.46 「中継ユニット」

□ 横排紙トレイ

- 1 横排紙トレイから用紙を取り除きます。



- 2 中継ユニットの紙づまりを解除してください。

📖 P.46 「中継ユニット」

□ 排紙トレイ下カバー

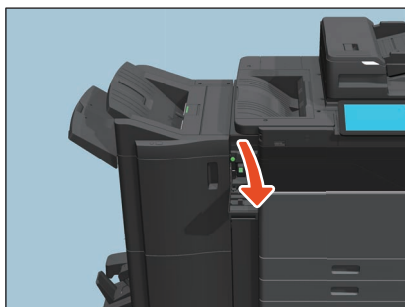
- 1 フィニッシャーを装着している場合は、フィニッシャーを本体から離します。

1. ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャーの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

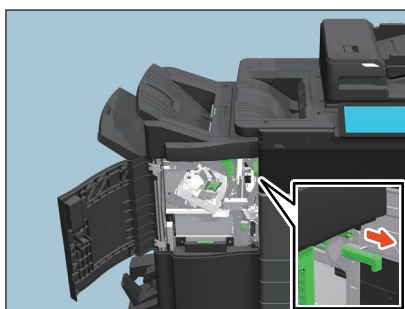


ホールパンチユニットを装着している場合

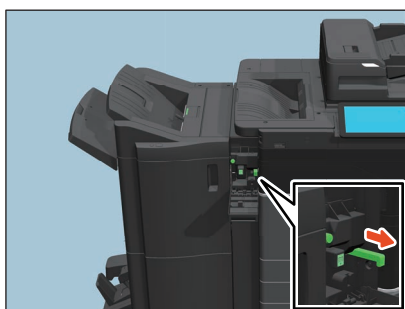


2. レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

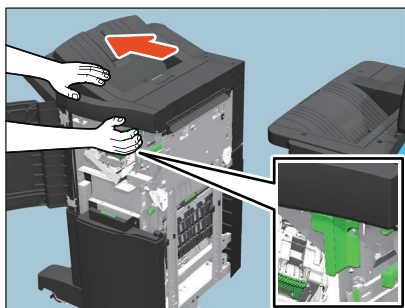


ホールパンチユニットを装着している場合

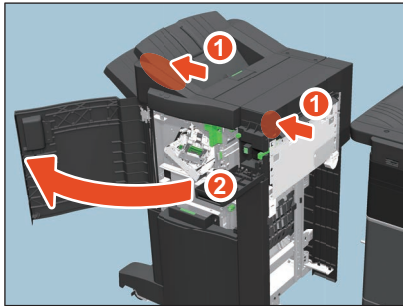


3. 図の位置に手を添えて、フィニッシャーを止まるまで静かに動かしてから、フィニッシャーの前面カバーを開けます。

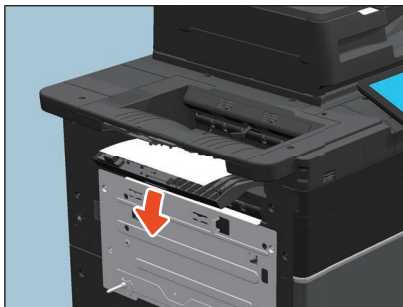
ホールパンチユニットを装着していない場合



ホールパンチユニットを装着している場合



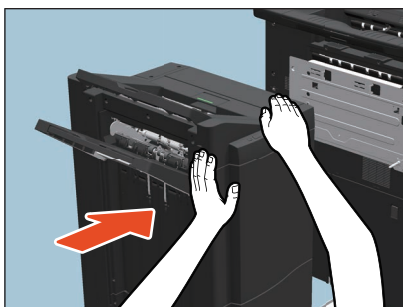
- 2 排紙トレイの下の取っ手を操作してカバーを開き、残っている用紙を取り除きます。



- 3 排紙トレイ下カバーを閉めます。



- 4 フィニッシャーやホールパンチユニットを装着している場合は、フィニッシャーの前面カバーおよびホールパンチユニットのカバーを閉めてから、フィニッシャーを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

⚠ 注意

フィニッシャーと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

■ 中継ユニット

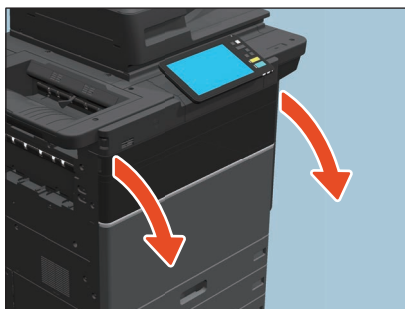
⚠ 注意

中継ユニットの金属部やモーターには触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

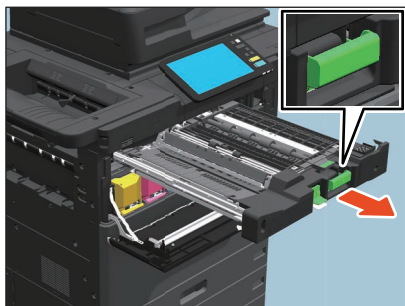
注意

中継ユニットの紙づまりの解除は最後に行ってください。
機体内部に紙がつまった状態で中継ユニットを引き出すと、紙が破れて機体内部に残ることがあります。中継ユニットの紙づまりの解除は、他の場所の紙づまりを解除した後に行ってください。

- 1 本体の前面カバーを開けます。



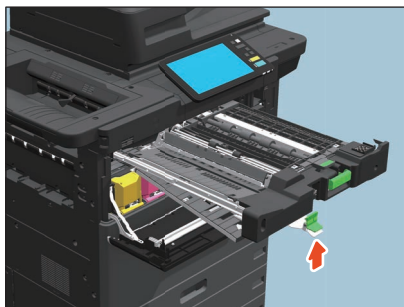
- 2 緑色のレバーに手を掛けて、中継ユニットを止まるまで引き出します。



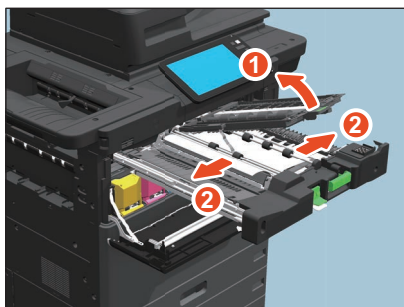
- 3 緑色のレバーをつまみながら下面カバーを開け、下面にある用紙を取り除きます。



4 下面カバーを閉めます。

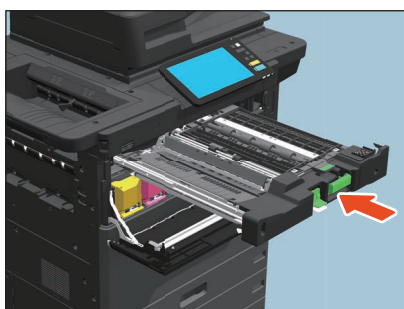


5 緑色の部分を持って上面カバーを開け、用紙を取り除きます。



6 上面カバーを閉めます。

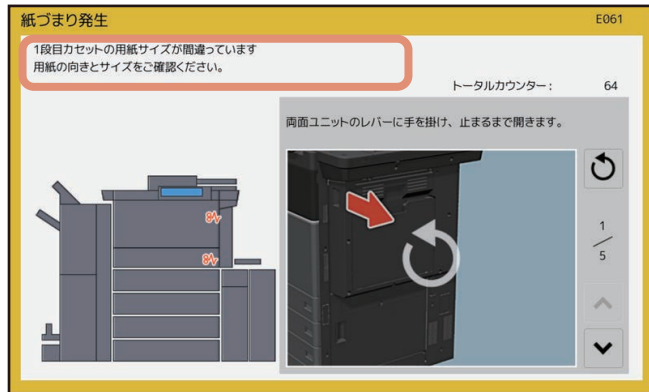
7 中継ユニットを本体内部に戻します。



8 本体の前面カバーを閉めます。

■ 用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除

カセットや手差しトレイに入っている用紙のサイズと機体に登録されている用紙サイズが一致していないと紙づまりが起きます。画面上には「*段目カセットの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。」または「手差しの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。」というメッセージが表示されます。



この場合、つまっている用紙を取り除くだけでは再び紙づまりが発生します。必ず下記の手順に従って対処してください。

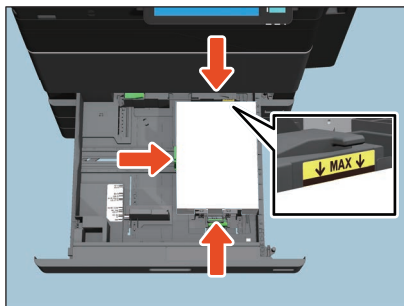
紙づまりがコピー中およびプリンター出力中に発生したか、ファクス出力中に発生したかによって対処方法が異なります。

□ コピー中またはプリンター出力中に発生した場合（カセット使用時）

- 1 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除します。
- 2 給紙したカセットを開け、用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認します。

注意

用紙の量は、カセットの内側にある上限表示を超えないようにしてください。



- 3 開いているカセットやカバーをすべて閉めます。

- 4 「中断中の印刷の扱いを選択してください」と表示されたら、[削除する] を押します。
印刷ジョブが削除されます。

補 足

ジョブスキップ設定を有効にしている場合は、[スキップする] と表示されます。[スキップする] を選択すると、印刷ジョブは中断されたままになります。ジョブスキップ設定について詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

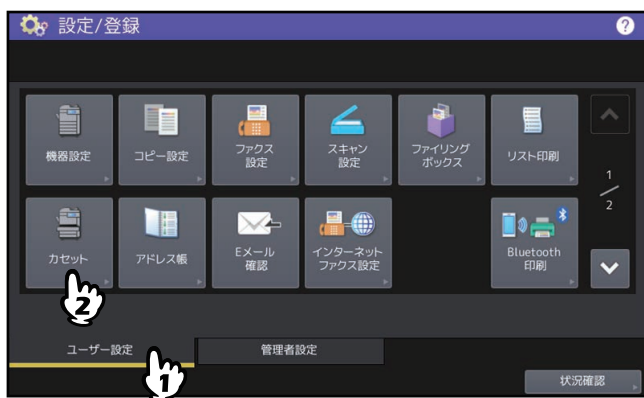
設定/登録 - 設定項目（管理者設定） - 機器設定 - ジョブ制御を設定する



印刷ジョブを削除したくない場合は

紙づまりを解除してから、カセット内の用紙を機体に設定されている用紙サイズに合ったものと交換してください。その後、手順4で [再開する] を押すと、印刷ジョブを再開できます。この場合、手順5以降は不要です。

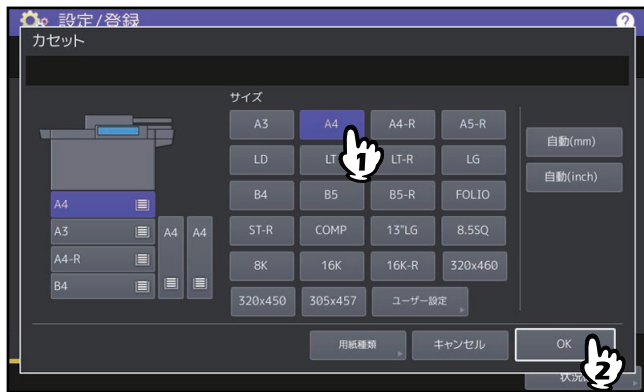
- 5 タッチパネルの [設定登録-ユーザー] を押して設定/登録メニューに入ります。
- 6 [ユーザー設定] タブを押してユーザー設定メニューに入り、[カセット] を押します。



- 7 メッセージで指定されたカセットボタンを押します。



8 用紙サイズを設定しなおし、[OK] を押します。



補足

用紙サイズの設定方法については、以下の参照先をご覧ください。


用紙の準備 (e-STUDIO7527AC Series/e-STUDIO9029A Series) - 用紙をセットする - セットした用紙を設定する - 用紙サイズを設定する


9 [ホーム] ボタンを押して基本画面に戻り、[コピー] ボタンを押してコピー画面に入ります。

10 手順8で [自動 (mm)] または [自動 (inch)] を選んだ場合は、セットした用紙のサイズが正しく検知されていることを確認します。

本機が検知した用紙サイズは、画面左側に表示される機体表示部のカセットボタン上で確認できます。



セットした用紙のサイズとは異なるサイズが表示されている場合や「」と表示されている場合は、用紙サイズが正しく検知されていません。この場合は以下の参照先をご覧ください。

 P.8 「こんな画面が表示されたら」

11 コピーやプリントをやり直します。

□ コピー中またはプリンター出力中に発生した場合（手差しトレイ使用時）

- 1 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してから、開いているカバーをすべて閉めます。
- 2 「中断中の印刷の扱いを選択してください」と表示されたら、[削除する] を押します。
印刷ジョブが削除されます。

補 足

ジョブスキップ設定を有効にしている場合は、[スキップする] と表示されます。[スキップする] を選択すると、印刷ジョブは中断されたままになります。ジョブスキップ設定について詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

設定/登録 - 設定項目（管理者設定） - 機器設定 - ジョブ制御を設定する



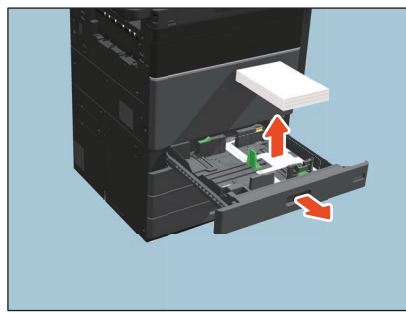
印刷ジョブを削除したくない場合は

紙づまりを解除してから、手差しトレイ上の用紙を機体に設定されている用紙サイズに合ったものと交換してください。その後、手順2で [再開する] を押すと、印刷ジョブを再開できます。この場合、手順3以降は不要です。

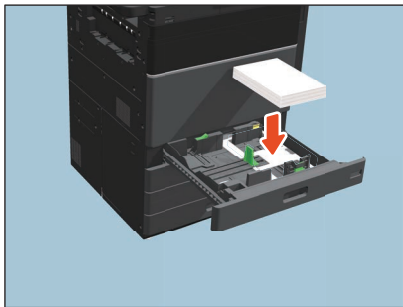
- 3 手差しトレイに用紙をセットし、用紙サイズを設定しなおします。
- 4 コピーやプリントをやり直します。

□ ファクス出力中に発生した場合

- 1 紙づまりが発生したカセットを引き出し、用紙をすべて取り出します。
用紙サイズを [自動 (mm)] または [自動 (inch)] に設定していてこの紙づまりが発生する場合は、カセットに入っている用紙のサイズが正しく検知されていないことが原因です。その場合は用紙を取り出さずに、手順3に進んでください。



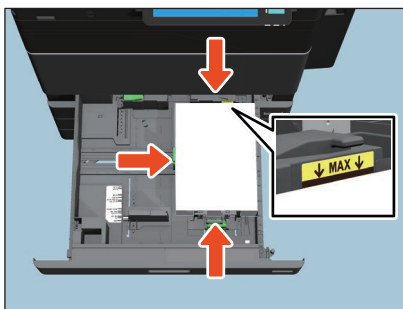
- 2 設定されている用紙サイズに合った用紙をカセットに入れます。



- 3 用紙を入れすぎていること、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認します。

注意

用紙の量は、カセットの内側にある上限表示を超えないようにしてください。



- 4 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してから、開いているカセットやカバーをすべて閉めます。

印刷が再開されます。

ステイプラーの針づまりの解除

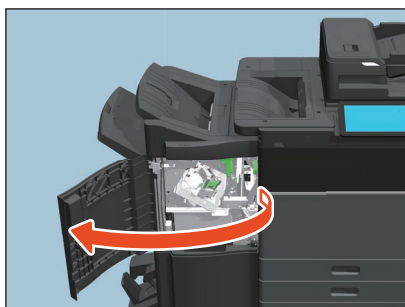
フィニッシャーおよびサドルステッチユニットのステイプラーの針がつまったときは、以下の手順に従って針づまりを解除してください。

注意

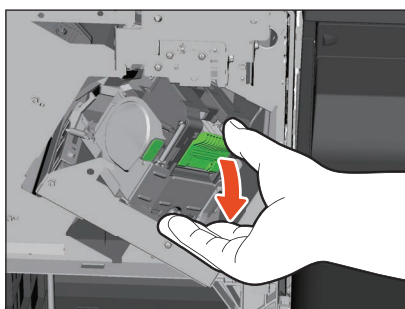
機器内部のコネクターに触れないように注意してください。故障の原因となります。

■ フィニッシャーのステイプラー

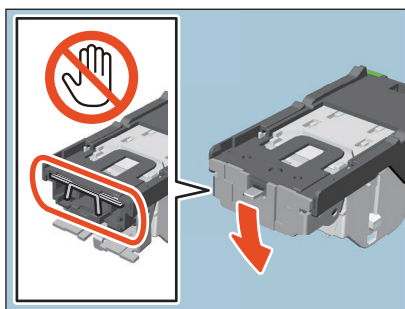
- 1 フィニッシャーの前面カバーを開けます。



- 2 ステイプルカートリッジを取り外します。



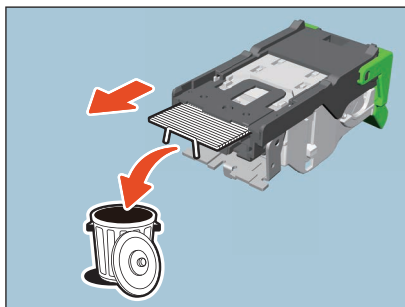
- 3 つまみを持って、ガイドを下げます。



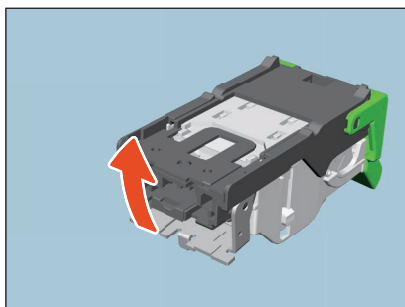
⚠ 注意

針打ち部には触れないこと
針先による、けがの原因となります。

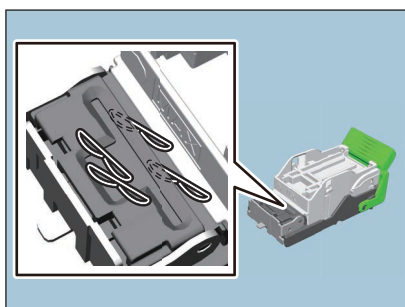
4 一番上の針シートを1枚、取り除きます。



5 つまみを持ってガイドを上げ、元に戻します。

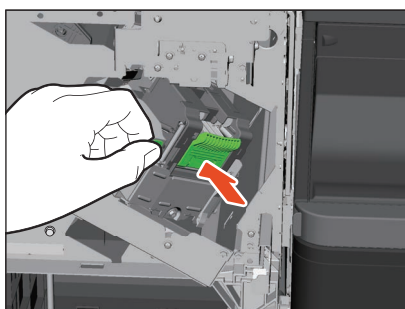


6 ステイ플カートリッジと針ケースの間や、針受け部に針が落ちている場合は、針を取り除きます。



7 ステイ플カートリッジをステイプラーに取り付けます。

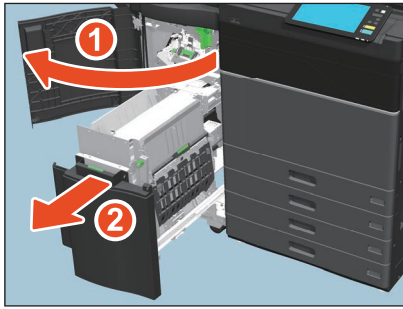
カートリッジを取り付けるときは、ブラケットの緑色のラベル部分を片手でしっかりつかんでブラケットを固定してください。
ステイ플カートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



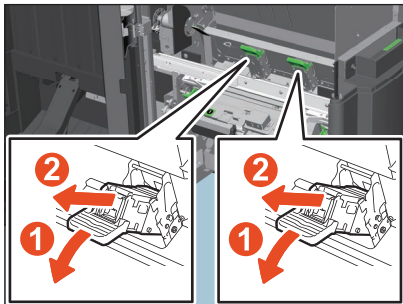
8 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

■ サドルステッチユニットのステイプラー

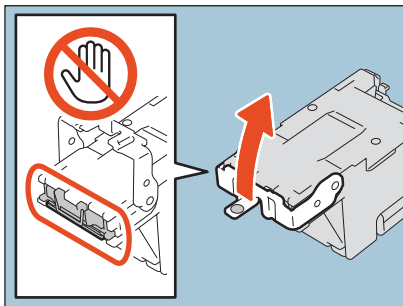
- 1 フィニッシャーの前面カバーを開け、サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



- 2 ステイプルカートリッジを取り外します。



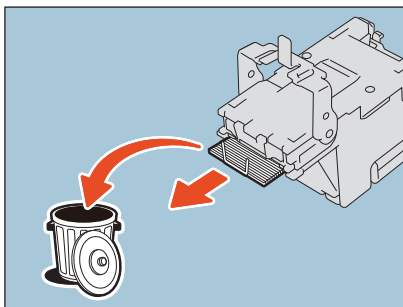
- 3 つまみを持って、ガイドを上げます。



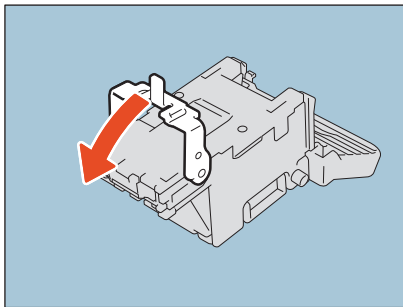
⚠ 注意

針打ち部には触れないこと
針先による、けがの原因となります。

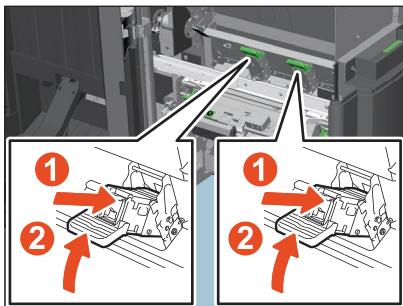
- 4 一番上の針シートを1枚、取り除きます。



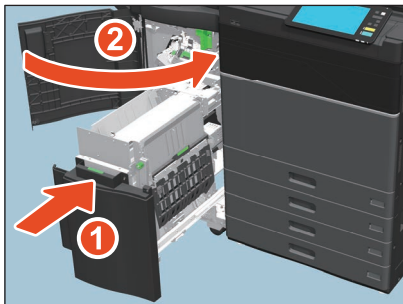
5 つまみを持ってガイドを下げ、元に戻します。



6 ステイプルカートリッジを取り付けます。
ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



7 サドルステッチユニットを元に戻し、フィニッシャーの前面カバーを閉めます。



トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ内のトナーがなくなると、画面に「***トナーがなくなりました 新しいカートリッジと交換してください」というメッセージが表示されます。(カラー機の場合、「***」に対象の色が表示されます。) このメッセージが表示されたときは、以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

画面に表示されるガイダンスに従ってトナーカートリッジを交換してください。▲または▼を押してガイダンスを前後にたどることができます。



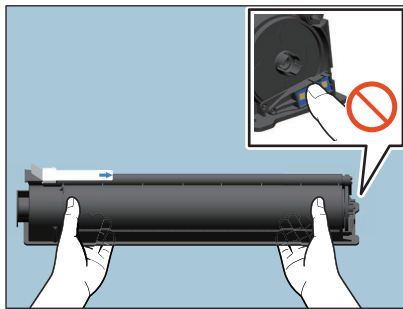
警告

トナーカートリッジを火の中に入れてはいけないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

トナーカートリッジの接点に触れないでください。

本機がトナーカートリッジを認識しなかったり、接点が破損したりする恐れがあります。

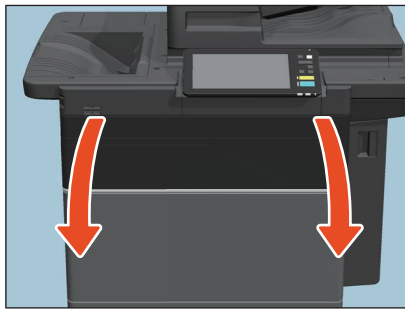


補足

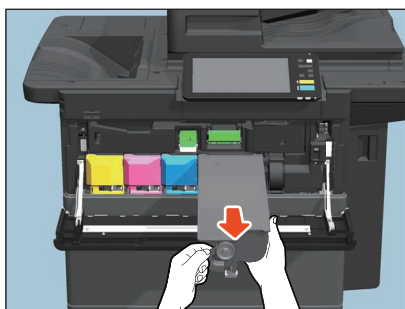
「トナーが少なくなっています」というメッセージが表示されている間は、まだトナーカートリッジ内にトナーが残っています。この状態でトナーカートリッジを交換する必要はありません。

■ カラー機

- 1 本体の前面カバーを開けます。



- 2 交換する色のトナーカートリッジの左側のくぼみに手を掛けて、下から手で支えながらゆっくり引き抜きます。



⚠ 警告

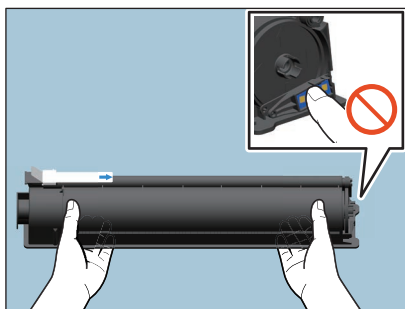
トナーカートリッジを火の中に入れてはいけないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

補足

交換する色のトナーカバーが開いていない場合は、前面カバーを閉めて画面が切り替わったのを確認してから再度前面カバーを開けてください。

- 3 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



注意

基板上の金属接点に触れないでください。

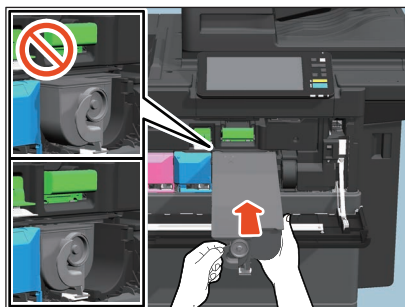
- 4 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。



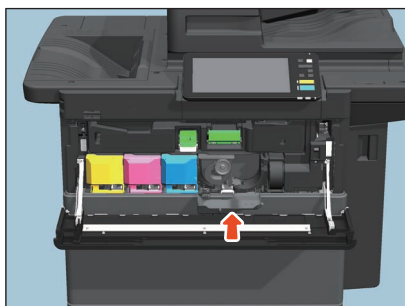
- 5 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



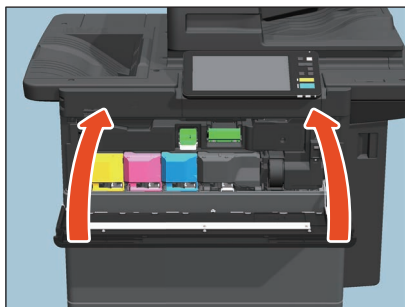
- 6 新しいトナーカートリッジを、左側の面と平らになるまで押し入れます。



- 7 トナーカバーを閉めます。

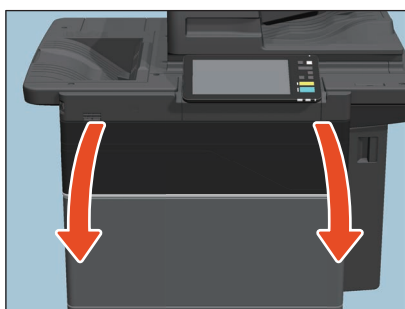


8 前面カバーの両端を押して閉めます。

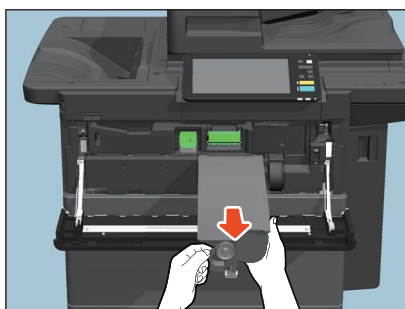


■ モノクロ機

1 本体の前面カバーを開けます。



2 トナーカートリッジを引き抜きます。



⚠ 警告

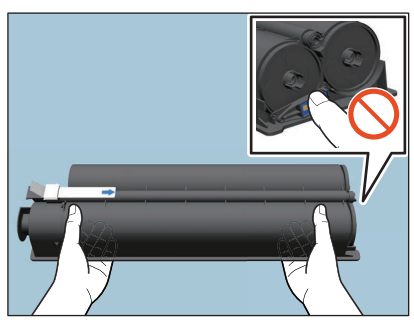
トナーカートリッジを火の中に入れないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

補足

トナーカバーが開いていない場合は、前面カバーを閉めて画面が切り替わったのを確認してから再度前面カバーを開けてください。

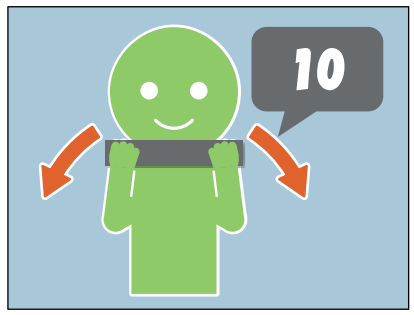
3 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



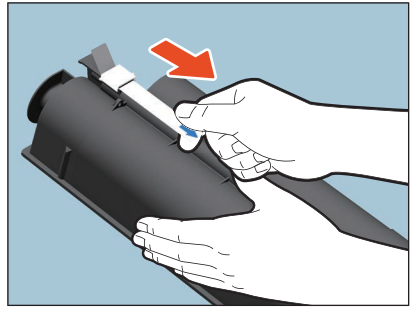
注意

基板上の金属接点に触れないでください。

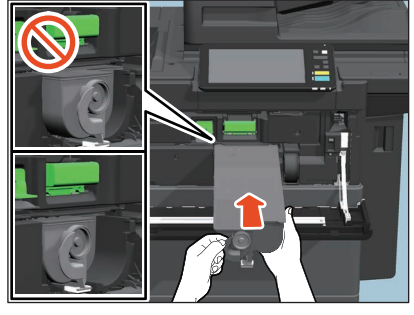
4 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。



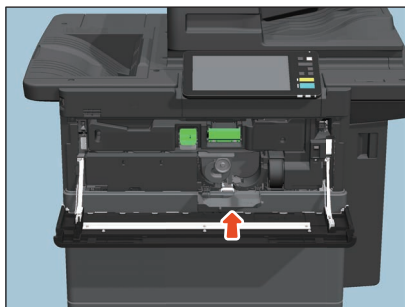
5 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



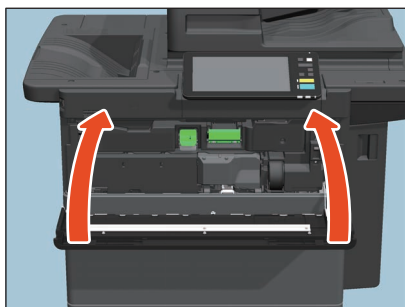
6 新しいトナーカートリッジを、左側の面と平らになるまで押して入れます。



7 トナーカバーを閉めます。



8 前面カバーの両端を押して閉めます。



廃トナーボックスの交換

廃トナーボックスが使用済みのトナーでいっぱいになると、廃トナーボックス交換マークが点滅し、「廃トナーボックスを交換してください」というメッセージが表示されます。その場合は以下の手順に従って、廃トナーボックスを交換してください。

タッチパネルにガイダンスが表示されます。▲ または ▼ を押してガイダンスを前後にたどることができます。



警告

使用済みの廃トナーボックスを火の中に入れてはいけないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みの廃トナーボックスは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

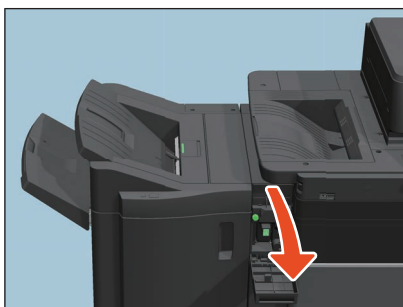
1 フィニッシャーを装着している場合は、フィニッシャーを本体から離します。

1. ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャーの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

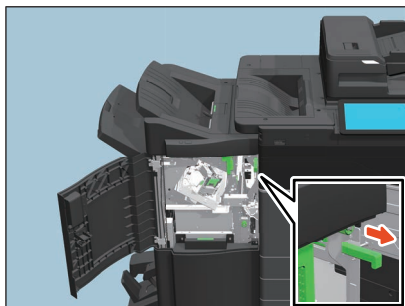


ホールパンチユニットを装着している場合



2. レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

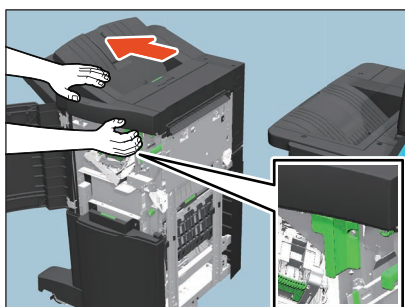


ホールパンチユニットを装着している場合

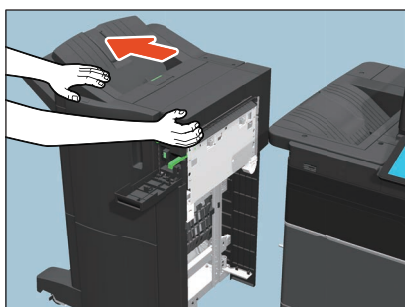


3. 図の位置に手を添えて、フィニッシャーを止まるまで静かに動かします。

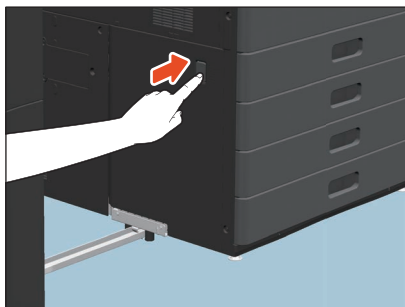
ホールパンチユニットを装着していない場合



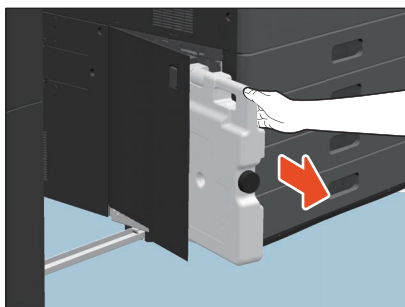
ホールパンチユニットを装着している場合



2 廃トナーボックスカバーのボタンを押して、カバーを開けます。



3 廃トナーボックスを取り出します。

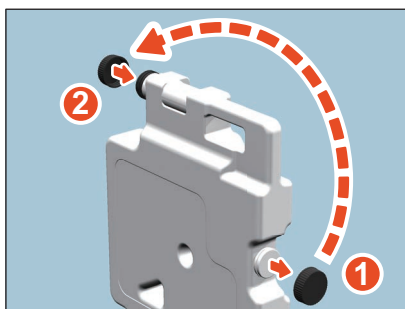


注意

廃トナーボックスを、廃トナー回収口のある面を下に向けないこと
廃トナー回収口から使用済みのトナーがこぼれる恐れがあります。

4 廃トナーボックスの口にキャップをします。

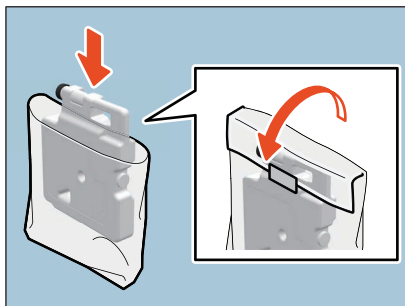
1. 廃トナーボックスの手前にあるキャップを取り外します。
2. 廃トナーボックスの口にキャップをかぶせて、しっかりと閉めます。



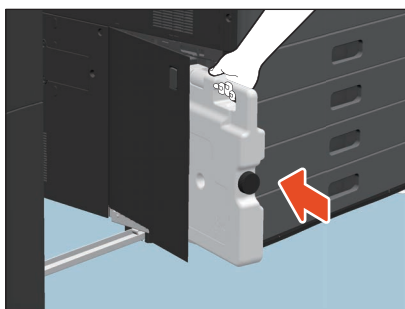
警告

使用済みの廃トナーボックスを火の中に入れてはいけないこと
火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みの廃トナーボックスは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

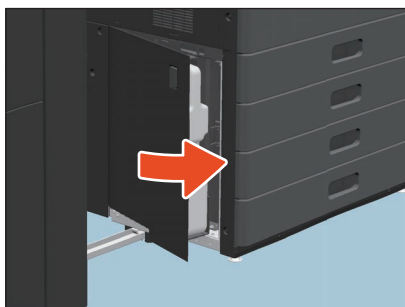
- 5 使用済みの廃トナーボックスを、新しい廃トナーボックスが入っていたビニール袋に入れます。袋からトナーが漏れ出さないように、袋の口をテープでふさいでください。



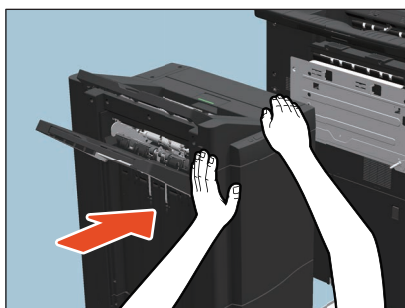
- 6 新しい廃トナーボックスを、奥までしっかり差し込みます。



- 7 廃トナーボックスカバーを閉めます。



- 8 フィニッシャーやホールパンチユニットを装着している場合は、フィニッシャーの前面カバーおよびホールパンチユニットのカバーを閉めてから、フィニッシャーを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

⚠ 注意

フィニッシャーと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因になります。

ステイプラーの針の補充

フィニッシャーおよびサドルステッチユニットのステイプラーの針がなくなったときは、以下の手順に従って針を補充してください。

注意

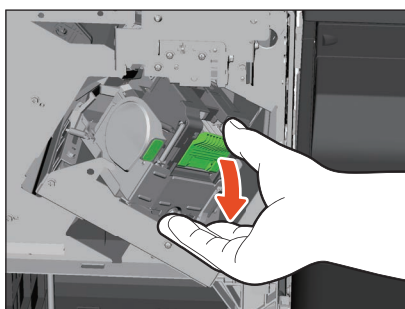
機器内部のコネクターに触れないように注意してください。故障の原因となります。

■ フィニッシャーのステイプラー

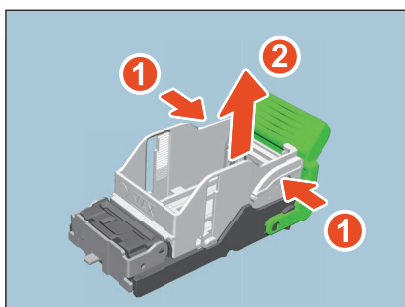
- 1 フィニッシャーの前面カバーを開けます。



- 2 ステイプルカートリッジを取り外します。

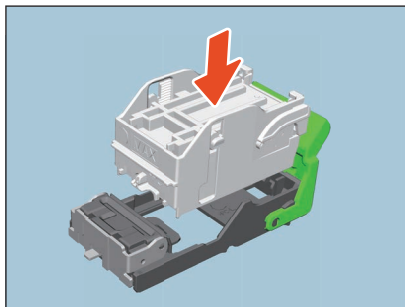


- 3 カートリッジから、空の針ケースを取り外します。
空の針ケースを、図のように両側から押しながら上へ引き上げます。



4 ステップカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。

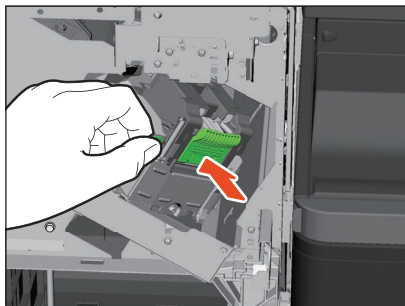
針ケースのフックをステップカートリッジの受け部に合わせ、カチッと音がするまで押し込んでください。



5 ステップカートリッジをステイプラーに取り付けます。

カートリッジを取り付けるときは、ブラケットの緑色のラベル部分を片手でしっかりつかんでブラケットを固定してください。

ステップカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



6 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

補足

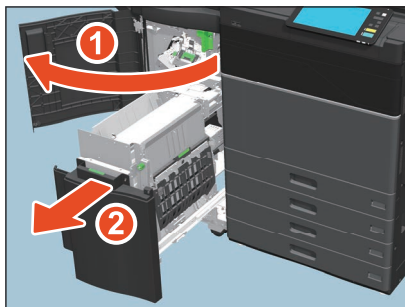
「ステイプラーの針を補給してください」というメッセージが消えない場合は、再度、手順1～6の操作を行ってください。

■ サドルステッチユニットのステイプラー

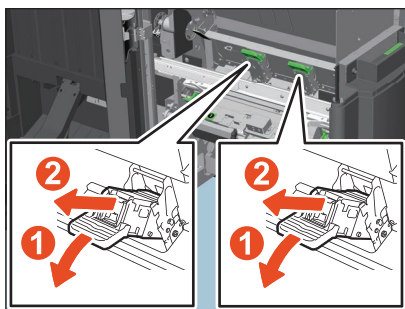
注意

ステップカートリッジを取り外したまま、サドルステッチフィニッシャーを使用しないでください。

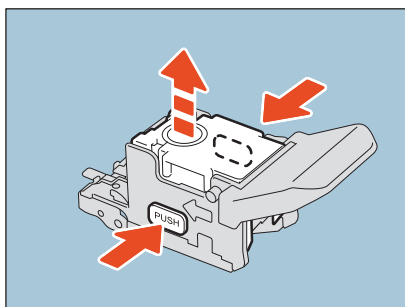
1 フィニッシャーの前面カバーを開け、サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



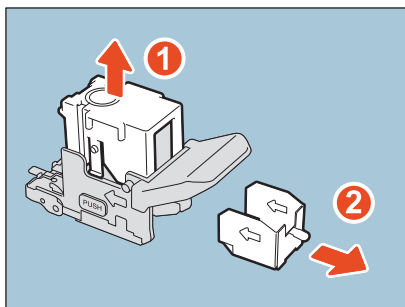
- 2** ステップカートリッジを取り外します。
カートリッジは2つとも同時に交換してください。



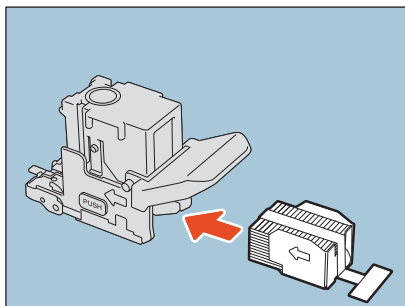
- 3** カートリッジの両側のボタンを押します。
カートリッジのクリアケースが上に引き上げられます。



- 4** クリアケースを引き上げてから、空の針ケースを取り出します。



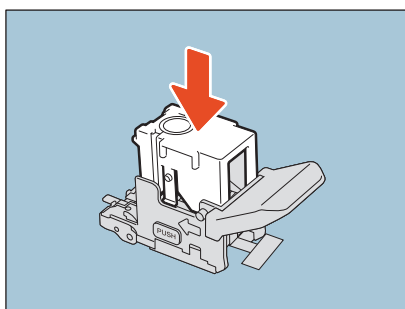
- 5** ステップカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。
カチッと音がするまで押し込んでください。



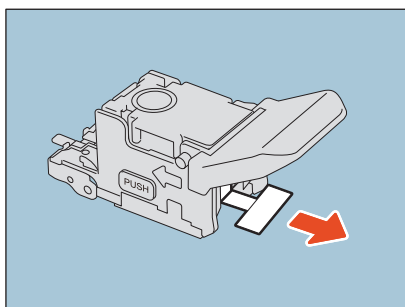
注意

針を留めているシールはまだはがさないでください。

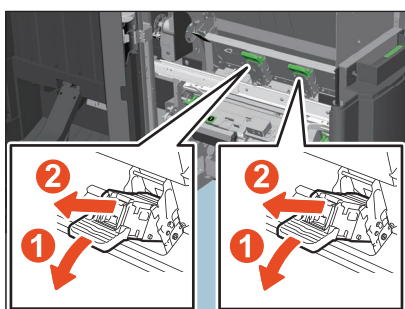
- 6** カートリッジのクリアケースを押し下げます。
カチッと音がするまで押し下げてください。



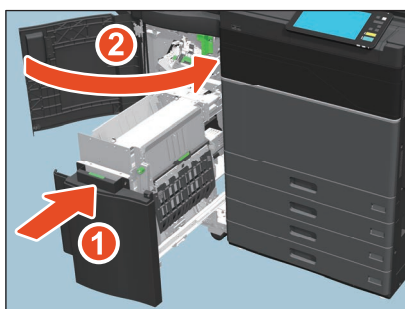
- 7** 針を留めているシールをまっすぐ引き抜きます。



- 8** ステイ플カートリッジを取り付けます。
ステイ플カートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



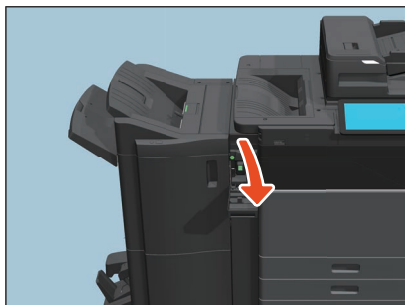
- 9** サドルステッチユニットを元に戻し、フィニッシャーの前面カバーを閉めます。



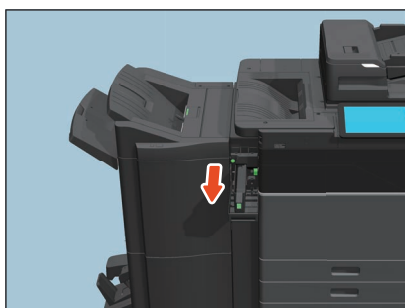
パンチ屑ケースの清掃

ホールパンチユニットのパンチ屑がいっぱいになったときは、以下の手順に従ってパンチ屑を捨ててください。

- 1 ホールパンチユニットのカバーを開けます。



- 2 パンチ屑ケースを引き出します。



- 3 パンチ屑を捨てます。
- 4 パンチ屑ケースを取り付けます。
- 5 ホールパンチユニットのカバーを閉めます。

日常のお手入れ

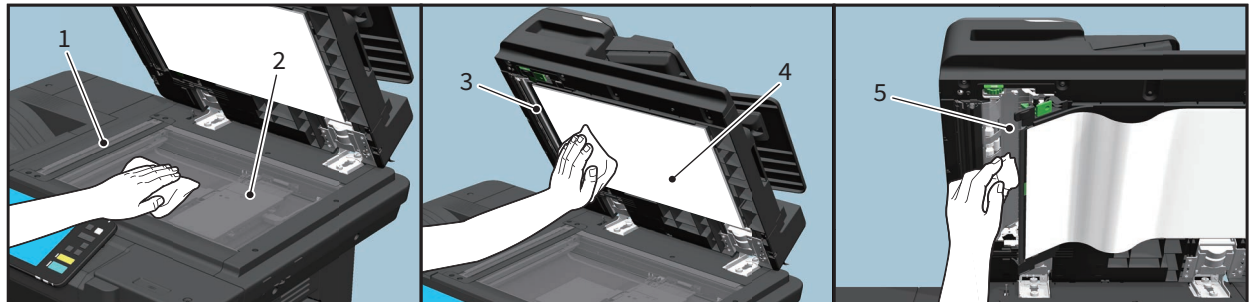
日常のお手入れ.....	74
保守サービスについて	75

日常のお手入れ

常にゴミや汚れのない状態で原稿を読み取るために、1週間に1回程度、以下の部分をクリーニングするようお勧めします。

注意

- クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- 機械を拭くときは、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使わないでください。変形や変色の原因となります。
- 化学ぞうきんを使う場合は、その注意書きに従ってください。



1. 原稿読み取り部（細長いガラスの表面）/ 2. 原稿ガラス

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。水以外のもの（アルコール、有機溶剤、中性洗剤）は使用しないでください。

3. ガイド部 / 4. 原稿押さえ

汚れの程度により、以下の方法でクリーニングしてください。

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭く。
- アルコールを含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、から拭きする。
- 薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、水拭きしてから、から拭きする。

5. 両面同時原稿送り装置の原稿読み取り部（細長いガラスの表面）

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。水以外のもの（有機溶剤、アルコール、中性洗剤）は使用しないでください。

前面カバーのクリーニング

前面カバーが汚れた場合は、柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。

注意

- クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- 硬い布、汚れた布、ティッシュペーパーは使用しないでください。

保守サービスについて

本機を安定した状態でご使用いただくための点検・保守・修理サービスの連絡先、およびサービスを依頼される場合にお客様よりお知らせいただく事柄について、以下に記載します。

次のような場合は、下記へご連絡ください。

- サービスエンジニアによる点検・保守・修理に関するお問い合わせ・ご依頼をされる場合
- 取扱説明書に記載が見当たらない事柄についてのお問い合わせ

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、以下の参照先をご覧ください。簡単な対処で問題が解決されることがあります。

よくあるご質問 - 機体についてのご質問 - 機体についてのご質問

対処を行っても問題が解消されない場合は直ちに使用を中止して、必ず電源プラグを抜き、サポートコールセンター（**かんたん操作ガイド**の裏表紙に記載）までご連絡ください。その際、次の内容をお知らせください。

商品名	e-STUDIO6527AC/7527AC/6529A/9029A
お客様のご連絡先	お名前、おところ、お電話番号、事業所名、部署名
ご依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> • お困りの内容 • 問題が生じる前に行っていた操作内容や状況 • エラーメッセージやエラーコード（表示された場合はお知らせください） これらについて、あらかじめメモを取っておかれると後で役に立ちます。

補修用部品について

補修用部品の供給年限は、製造中止後7年間です。

お問い合わせ先

かんたん操作ガイドの裏表紙に記載しています。

個人情報の取り扱いについて

- お客様にご提供いただいた住所などの情報は、サービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、弊社から修理委託している保守会社などに必要な情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護プログラムが遵守されるよう、適切な措置を取ります。

索引

か

紙づまり

紙を取り除くときのご注意	15
場所を画面で確認する	13
ひんぱんに起こるときは	16
用紙サイズの設定間違いによる	48

紙づまりの解除

カセット	26
カセット給紙部	25
機体右側面	27
サドルステッチ部	36
外付け大容量給紙装置（2000枚）	20
外付け大容量給紙装置（2000枚+2500枚）	22
中継ユニット	46
手差しトレイ	27
排紙部	43
フィニッシャーおよびホールパンチユニット	31
両面同時原稿送り装置下部	17
両面同時原稿送り装置上部	18
両面ユニット	30

く

クリーニング

ホールパンチユニットのパンチ屑ケース	71
--------------------------	----

さ

サポートコールセンター	75
-------------------	----

す

ステイプル針の補充

サドルステッチユニット	68
-------------------	----

と

トナーカートリッジの交換	57
カラー機	58
モノクロ機	60

に

日常のお手入れ	74
---------------	----

は

廃トナーボックスの交換	63
-------------------	----

針づまりの解除

サドルステッチユニット	55
パンチ屑ケースの清掃	71

ほ

保守サービス	75
--------------	----

東芝デジタル複合機

困ったときは

e·STUDIO6527AC/7527AC

e·STUDIO6529A/9029A

東芝テック株式会社

